



marantz[®]

Super Audio CD Player

SA8005

取扱説明書

目次

使用上のご注意	4
携帯電話使用時のご注意	4
お手入れについて	4
結露（つゆつき）について	4
換気についてのご注意	4
移動させるときのご注意	4
付属品	5
乾電池の入れかた	6
リモコンの使いかた	6
特長	7
高音質	7
多彩な機能	7

各部の名前

フロントパネル	9
ディスプレイ	11
リアパネル	12
リモコン	13
本機の操作	13
アンプの操作	16
ネットワークオーディオプレーヤーの操作	17

接続のしかた

アンプを接続する	19
デジタル音声入力端子付きの機器を接続する	20
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する	21
パソコンと接続する	22
USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する	23
リモートコントロール端子付きの機器を接続する	25
接続	25
設定	25
オーディオタイマーに接続する	26
電源コードを接続する	27

再生のしかた

基本操作	29
電源を入れる	29
再生するメディアモードを選択する	30
ディスプレイの明るさを切り替える	30
デジタル音声出力を停止する	30
スーパーオーディオCDの 最優先再生レイヤーを切り替える	31
CDおよびスーパーオーディオCDを再生する	32
CDおよびスーパーオーディオCDを再生する	32
お好みの順序で再生する（プログラム再生）	34

データCDを再生する	35
ファイルを再生する	36
iPodを再生する	38
iPodの曲を再生する	39
オペレーションモードの設定 (Remote iPodモード)	40
USBメモリーを再生する	41
USBメモリーに保存されているファイルを再生する	42
本機をD/Aコンバーターとして使用する	44
パソコンと接続して再生する (USB-DAC)	45
デジタル機器と接続して再生する (Coaxial/Optical)	51

設定のしかた

メニュー一覧	52
Timer Play (タイマー再生)	54
Disp Info (ディスプレイ表示)	54
USB Resume (レジューム設定)	55
Digital Out (デジタル音声出力)	55
Audio Out (アナログ音声出力)	55
Vol.Limit (音声出力の上限)	56
Auto Stnby (オートスタンバイ)	56
音量調節ボタンのリモコンコードを設定する	57
リモコンコードを“Variable”に設定する	57
リモコンコードを“AMP”に設定する	57

困ったときは

目次	58
こんなときの解決方法	59
故障かな?と思ったら	60
保証と修理について	66

付録

再生できるメディア	67
ディスク	67
データCD	68
USBメモリー	68
ファイルの再生順番について	70
フォルダとファイルについて	70
D/Aコンバーター	71
メディア使用時のご注意	72
ディスクの入れかた	72
メディアの取り扱いについて	73
ディスクのお手入れのしかた	73
用語の解説	74
主な仕様	75
索引	77

使用上のご注意

携帯電話使用時のご注意

本機の近くで携帯電話をご使用になると、雑音が入る場合があります。携帯電話は本機から離れた位置で使用してください。

お手入れについて

- キャビネットや操作パネル部分の汚れは、柔らかい布で軽く拭き取ってください。化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。
- ベンジンやシンナーなどの有機溶剤および殺虫剤などが本機に付着すると、変質や変色の原因になりますので使用しないでください。

結露（つゆつき）について

本機を寒いところから急に暖かいところに移動させたり、本機を設置した部屋の温度を暖房などで急に上げたりすると、内部（動作部）に水滴が付くことがあります（結露）。結露したまま本機を使用すると、正常に動作せず、故障の原因となることがあります。結露した場合は、本機の電源を切ったまま1～2時間放置してから使用してください。

換気についてのご注意

本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学式ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

移動させる時のご注意

最初にディスクを取り出して電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
次に、機器間の接続ケーブルを外してからおこなってください。

ステレオ音のエチケット



音のエチケット

- 隣近所への配慮（おもいやり）を十分にいたしましょう。
- 特に静かな夜間は、小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には、特に気を配りましょう。

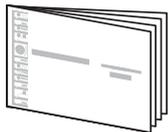
お買い上げいただきありがとうございます。

- 本機をご使用になる前に、必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに大切に保管してください。
- この製品は持ち込み修理対象製品です。出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくことになりますので、あらかじめご了承ください。詳しくは保証書の裏面をご覧ください。

付属品

ご使用になる前にご確認ください。

① 簡単セットアップガイド



② 取扱説明書 (本書)



③ 安全にお使いいただくために

④ 保証書

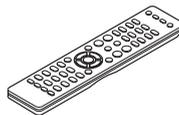
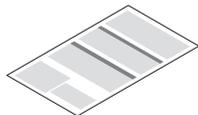


⑤ 製品のご相談と
修理・サービス窓口のご案内

⑥ 電源コード【本機専用】

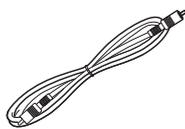
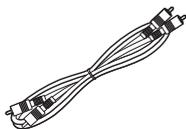
⑦ リモコン
(RC002PMSA)

⑧ 単4形乾電池 (2本)



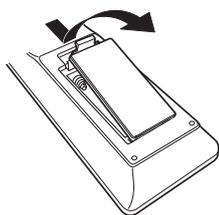
⑨ 音声ケーブル

⑩ リモート接続ケーブル

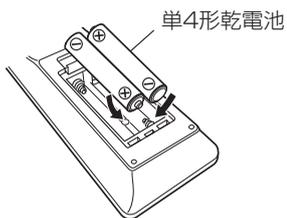


乾電池の入れかた

- ① 裏ぶたを矢印の方向へ押し上げて取り外す。



- ② 乾電池（2本）を乾電池収納部の表示に合わせて正しく入れる。



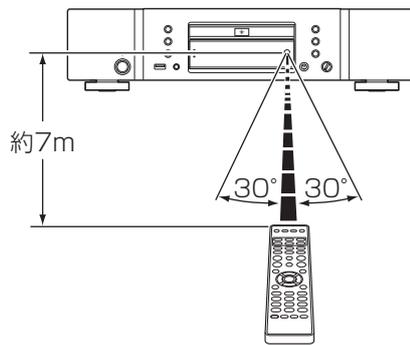
- ③ 裏ぶたを元どおりにする。

ご注意

- 乾電池は、リモコンの乾電池収納部の表示どおりに⊕側・⊖側を合わせて正しく入れてください。
- 破損・液漏れの恐れがありますので、
 - 新しい乾電池と使用済みの乾電池を混ぜて使用しないでください。
 - 違う種類の乾電池を混ぜて使用しないでください。
- リモコンを長期間使用しないときは、乾電池を取り出してください。
- 万一、乾電池の液漏れがおこったときは、乾電池収納部内についた液をよく拭き取ってから新しい乾電池を入れてください。

リモコンの使いかた

リモコンはリモコン受光部に向けて使用してください。



特長

高音質

・トロイダルトランス

電源トランス特有の振動と漏洩磁束の少ないトロイダル型電源トランスを搭載しました。リング状コアの材料と製造工程を厳しく管理することで振動を軽減し、トランス外周に取り付けられたコアリングとショートリングは漏洩磁束を軽減しています。

・大容量ブロックコンデンサ

電源回路には音質検討を重ねたオーディオ用3300 μ F大容量コンデンサを搭載しています。

・高音質フィルムコンデンサ、電解コンデンサ

本機では上級機にも使用している高音質フィルムコンデンサやオーディオ用電解コンデンサを採用しています。

・ディファレンシャル入力のHDAMによるローノイズ低歪フィルター回路と高速HDAM[®]SA2送り出しアンプ

・ダブル・レイヤード・シャーシ

・高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載

HDAM[®]SA2を搭載した、高品位なヘッドホンアンプ回路を搭載していますので、深夜にヘッドホンで音楽を聴くときなどに高音質でお楽しみいただけます。

多彩な機能

・DSDファイルの再生に対応したUSB-DAC機能を搭載

DSD信号やPCM信号の192kHz/24bitまでサポートしたUSB-DAC機能を搭載。パソコンに保存しているPCM信号やDSD信号の音楽ファイルをUSB接続で本機に入力すると、本機に搭載しているD/Aコンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。

・ご使用になる前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください（「パソコンと接続して再生する（USB-DAC）」（P.45ページ））。

・パソコンの再生プレーヤーソフトは、市販品またはダウンロード可能なお好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

・D/Aコンバーターとして使用可能

外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を本機のD/Aコンバーターでアナログ変換して出力できます。

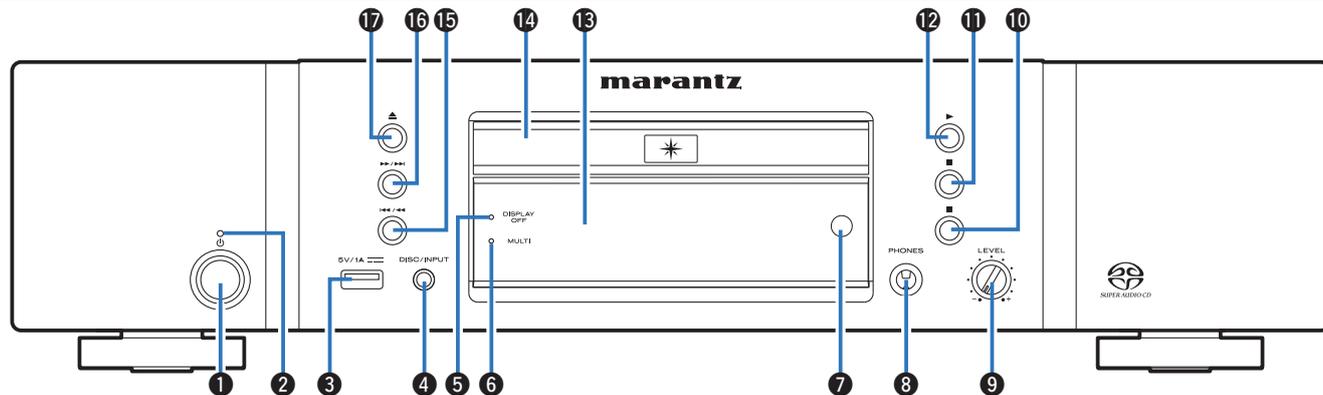
・USBメモリー（MP3/WMA/AAC/WAV）やiPod[®]/iPhone[®]の再生に対応

USBメモリーまたはiPod/iPhoneをUSB端子に接続することにより、USBメモリーやiPod/iPhoneに保存した音楽ファイルを再生できます。

- **MP3、WMAファイル再生に対応** (P.35ページ)
CD-RやCD-RWに記録したMP3、WMAファイルを再生できます。
- **音声出力信号の影響を抑える周辺回路のオフ機能**
本機から出力するアナログ音声信号に周辺回路からのノイズの流入を抑えるため、デジタル音声出力回路をオフにする機能や、ディスプレイを消灯する機能を搭載しました。
- **スタンバイモード時もiPod®を充電可能**
- **電力消費をおさえるオートスタンバイモード**

各部の名前

フロントパネル



① 電源ボタン (⏻)

電源をオン/オフ (スタンバイ) します
([P.29](#)ページ)。

② 電源表示

電源の状態によって、次のように点灯します。

- ・電源オン時：消灯
- ・通常のスタンバイ時：赤色
- ・iPodの充電スタンバイ時：橙色

③ USB端子

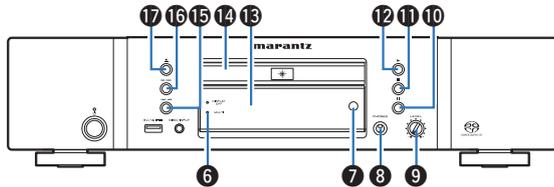
USB機器 (USBメモリーなど) やiPodに付属のUSBケーブルを接続します ([P.23](#)ページ)。

④ メディアモード切り替えボタン (DISC/INPUT)

再生するメディアモードを切り替えます
([P.30](#)ページ)。

⑤ ディスプレイオフ表示 (DISPLAY OFF)

ディスプレイの明るさが消灯のときに点灯します
([P.30](#)ページ)。



⑥ マルチチャンネルレイヤー表示 (MULTI)

スーパーオーディオCDのマルチチャンネルレイヤーを選択しているときに点灯します (☞31ページ)。

⑦ リモコン受光部

リモコンからの信号を受信します (☞6ページ)。

⑧ ヘッドホン端子 (PHONES)

ヘッドホンを接続します。

ご注意

- ・ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。

⑨ ヘッドホン音量調節つまみ (LEVEL)

ヘッドホンの音量を調節します。

⑩ 一時停止ボタン (II)

再生を一時停止します

(☞33、36、40、42ページ)。

⑪ 停止ボタン (■)

再生を停止します

(☞33、36、40、42ページ)。

⑫ 再生ボタン (▶)

再生をはじめます

(☞33、36、40、42ページ)。

⑬ ディスプレイ

各種情報を表示します (☞11ページ)。

⑭ ディスクトレイ

ディスクを入れます (☞72ページ)。

⑮ スキップ/早戻しボタン (I◀◀/◀◀I)

再生中の曲の先頭にスキップします。長押しすると、早戻しします (☞33、36、40、42ページ)。

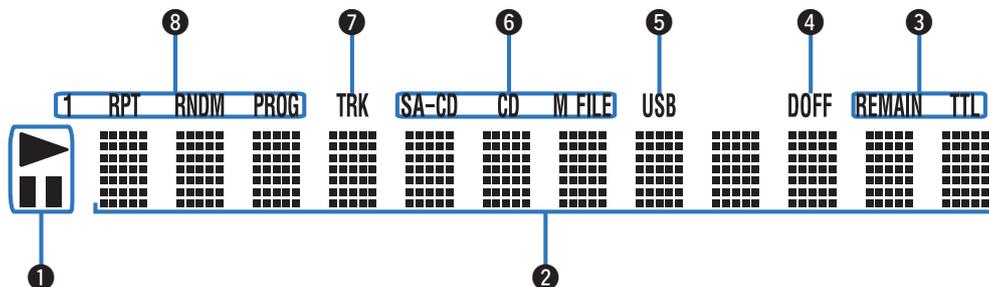
⑯ スキップ/早送りボタン (▶▶/▶▶I)

次の曲の先頭にスキップします。長押しすると、早送りします (☞33、36、40、42ページ)。

⑰ ディスクトレイ開閉ボタン (▲)

ディスクトレイを開閉します (☞32ページ)。

ディスプレイ



① 再生モード表示

- ▶：再生中に点灯します。
- ||：一時停止中に点灯します。

② インフォメーションディスプレイ

再生時間表示など、各種情報を表示します。

③ 時間モード表示

- REMAIN：再生曲の残り時間を表示中に点灯します。
- TTL：全曲の残り時間を表示中に点灯します。

④ DOFF表示

デジタル音声出力を“Off”に設定しているときに点灯します
(P.55ページ「Digital Out (デジタル音声出力)」)。

⑤ USB表示

USBモードで動作しているときに点灯します。

⑥ ディスクメディア表示

再生ディスクの種類を表示します。
WMA/MP3ファイルを収録しているディスクの場合は“M FILE”表示が点灯します。

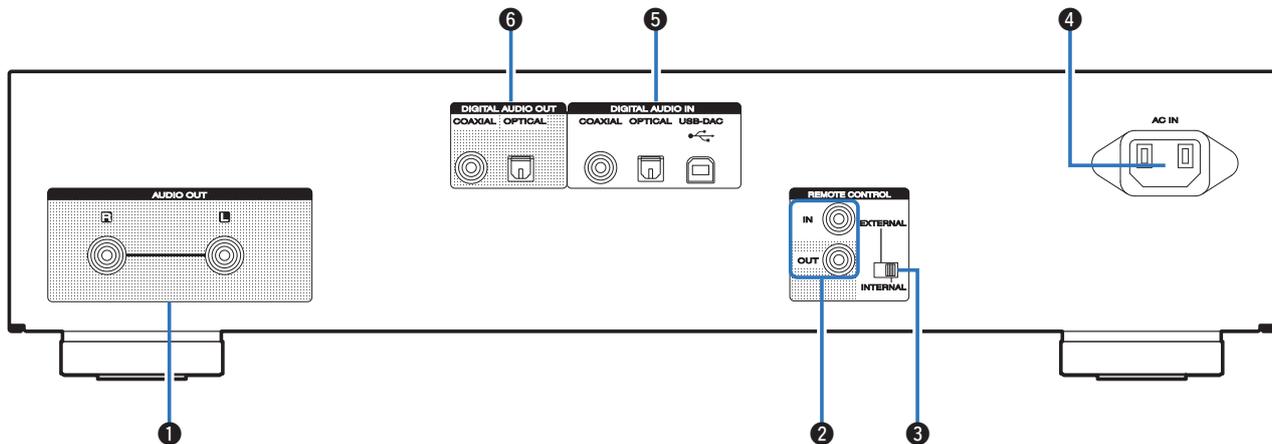
⑦ トラック表示 (TRK)

再生中の曲番 (トラックナンバー) などを表示中に点灯しません。

⑧ 特殊再生モード表示

1：1曲リピート再生モードに設定すると点灯します。
RPT：リピート再生モードに設定すると点灯します。
RNDM：ランダム再生モードに設定すると点灯します。
PROG：プログラム再生モードに設定すると点灯します。

リアパネル



① アナログ音声出力端子 (AUDIO OUT)

アナログ音声入力端子付きの機器や外部のアンプを接続します (P.19ページ)。

② リモートコントロール端子 (REMOTE CONTROL)

リモートコントロール機能付きのマランツ製アンプを接続します (P.25ページ)。

③ EXTERNAL/INTERNALスイッチ

アンプとリモートコントロール接続し、スイッチを“EXTERNAL”に切り替えると、アンプがリモコン信号を受信して、本機はアンプからのリモコン信号を受けて動作します (P.25ページ)。

④ ACインレット (AC IN)

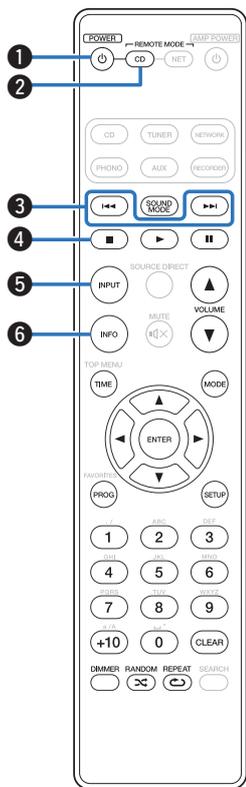
電源コードを接続します (P.27ページ)。

⑤ デジタル音声入力端子 (DIGITAL AUDIO IN)

デジタル音声出力端子付きの機器やパソコンを接続します (P.21、22ページ)。

⑥ デジタル音声出力端子 (DIGITAL AUDIO OUT)

デジタル音声入力端子付きのAVレシーバーやD/Aコンバーターを接続します (P.20ページ)。



本機の操作

本機を操作するときは、リモートモードCD切り替えボタン（REMOTE MODE CD）を押して、リモコンを本機の操作モードに切り替えます。

- ・リモートモードCD切り替えボタン（REMOTE MODE CD）が約2秒間点灯します。

① 電源ボタン (⏻)

本機の電源をオン/オフ（スタンバイ）します（[P.29、56ページ](#)）。

② リモートモードCD切り替えボタン (REMOTE MODE CD)

リモコンの操作モードをCDに切り替えます。

③ スキップボタン (⏮、⏭)

曲の先頭にスキップします。長押しすると、早戻しまたは早送りします（[P.33、36、40、42ページ](#)）。

④ 停止ボタン (■)

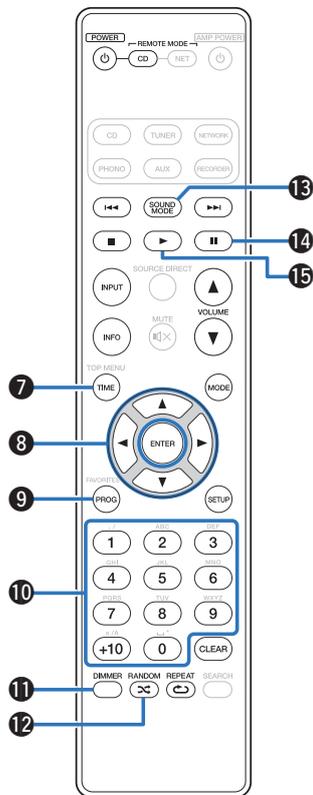
再生を停止します（[P.33、36、40、42ページ](#)）。

⑤ メディアモード切り替えボタン (INPUT)

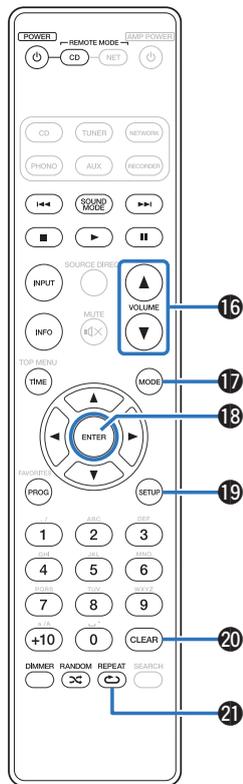
再生するメディアモードを切り替えます（[P.30ページ](#)）。

⑥ インフォメーションボタン (INFO)

再生中の曲情報などをディスプレイに表示します（[P.33、37、40、43、54ページ](#)）。



- 7 **時間表示切り替えボタン (TIME)**
再生時間の表示 (再生曲の経過時間、再生曲の残り時間および全曲の残り時間) を切り替えます (☞33、36、40、42ページ)。
- 8 **カーソルボタン (△▽◀▶)**
項目を選択します (☞53ページ)。
- 9 **プログラムボタン (PROG)**
プログラム再生をします (☞34ページ)。
- 10 **数字ボタン (0~9、+10)**
数値を入力します (☞33、34ページ)。
- 11 **明るさ調節ボタン (DIMMER)**
ディスプレイの明るさを調節します (☞30ページ)。
- 12 **ランダムボタン (RANDOM ☞)**
ランダム再生をします (☞33、36、40、42ページ)。
- 13 **サウンドモード切り替えボタン (SOUND MODE)**
スーパーオーディオCDの再生レイヤーまたはエリアを切り替えます (☞31ページ)。
- 14 **一時停止ボタン (⏸)**
再生を一時停止します (☞33、36、40、42ページ)。
- 15 **再生ボタン (▶)**
再生をはじめます (☞33、36、40、42ページ)。



16 音量調節ボタン (VOLUME ▲▼)

アナログ音声出力の音量を調節します。
(55、57ページ)。

17 再生モード切り替えボタン (MODE)

再生モードを切り替えます
(36、40、42ページ)。

18 エンターボタン (ENTER)

選択した内容を確定します
(30、40、42、53、57ページ)。

19 セットアップボタン (SETUP)

ディスプレイに設定メニューを表示します
(53ページ)。

20 クリアボタン (CLEAR)

プログラムの登録を取り消します (34ページ)。

21 リPEATボタン (REPEAT)

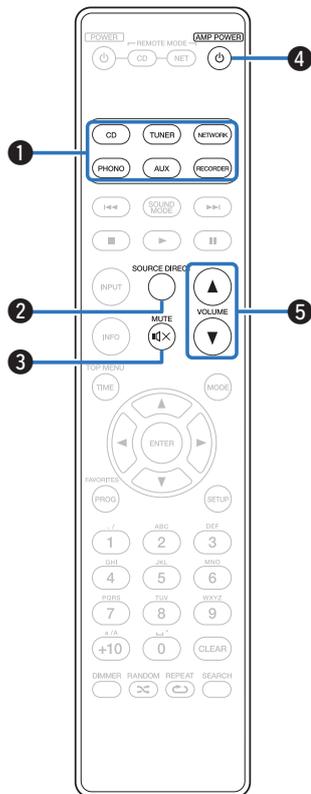
リピート再生をします
(33、36、40、42ページ)。



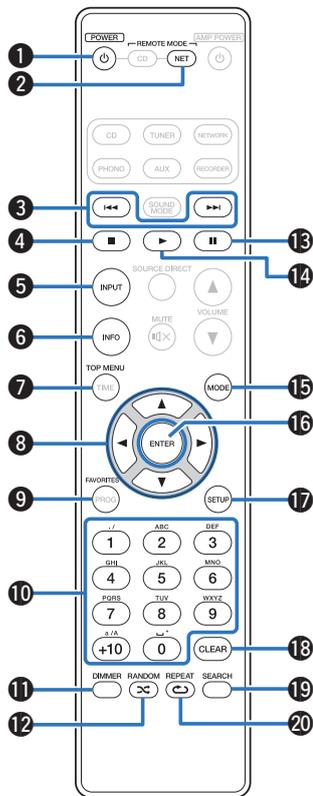
- リモートモードが“CD” のときも、アンプの操作ボタンでアンプを操作できます。

アンプの操作

マランツ製アンプを操作できます。



- ① 入力ソース切り替えボタン
- ② ソースダイレクトボタン (SOURCE DIRECT)
- ③ 消音ボタン (MUTE $\text{M}\times$)
- ④ 電源ボタン (AMP POWER P)
- ⑤ 音量調節ボタン (VOLUME \blacktriangle \blacktriangledown)



ネットワークオーディオプレーヤーの操作

マランツ製ネットワークオーディオプレーヤーを操作するときには、リモートモードNET切り替えボタン (REMOTE MODE NET) を押して、リモコンをネットワークオーディオプレーヤーの操作モードに切り替えます。

・リモートモードNET切り替えボタン (REMOTE MODE NET) が約2秒間点灯します。

- | | |
|---------------------------------------|-----------------------|
| ① 電源ボタン (⏻) | ⑪ 明るさ調節ボタン (DIMMER) |
| ② リモートモードNET切り替えボタン (REMOTE MODE NET) | ⑫ ランダムボタン (RANDOM ⚡) |
| ③ スキップボタン (I<<<, >>>I) | ⑬ 一時停止ボタン (⏮) |
| ④ 停止ボタン (■) | ⑭ 再生ボタン (▶) |
| ⑤ 入力ソース切り替えボタン (INPUT) | ⑮ 再生モード切り替えボタン (MODE) |
| ⑥ インフォメーションボタン (INFO) | ⑯ エンターボタン (ENTER) |
| ⑦ トップメニューボタン (TOP MENU) | ⑰ セットアップボタン (SETUP) |
| ⑧ カーソルボタン (△▽◀▶) | ⑱ クリアボタン (CLEAR) |
| ⑨ お気に入りボタン (FAVORITES) | ⑲ サーチボタン (SEARCH) |
| ⑩ 数字ボタン (0~9、+10) | ⑳ リpeatボタン (REPEAT ⌛) |



・リモートモードが“NET” のときも、アンプの操作ボタンでアンプを操作できます。ご使用の際は、各機器の取扱説明書もあわせてご覧ください。(一部操作ができない製品もあります。)

接続のしかた

アンプを接続する (☞ 19ページ)

デジタル音声入力端子付きの機器を接続する (☞ 20ページ)

デジタル音声出力端子付きの機器を接続する (☞ 21ページ)

パソコンと接続する (☞ 22ページ)

USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する
(☞ 23ページ)

リモートコントロール端子付きの機器を接続する
(☞ 25ページ)

オーディオタイマーに接続する (☞ 26ページ)

電源コードを接続する (☞ 27ページ)

ご注意

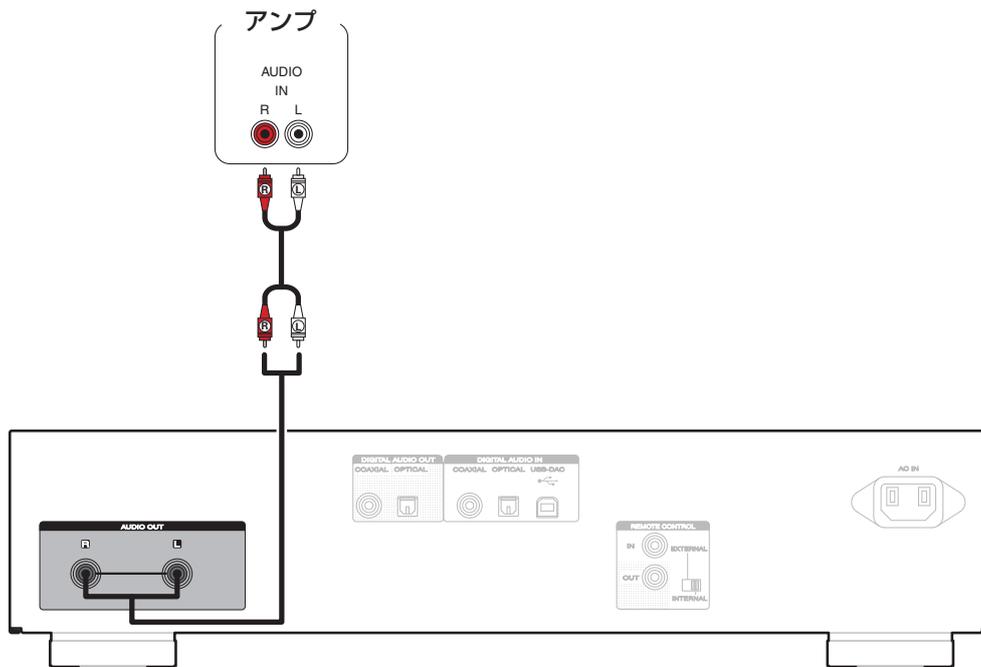
- すべての接続が終わるまで電源プラグをコンセントに差し込まないでください。
- 接続ケーブルは、電源コードと一緒に束ねないでください。雑音の原因となることがあります。

■ 接続に使用するケーブル

接続する機器に合わせて、必要なケーブルをご用意ください。

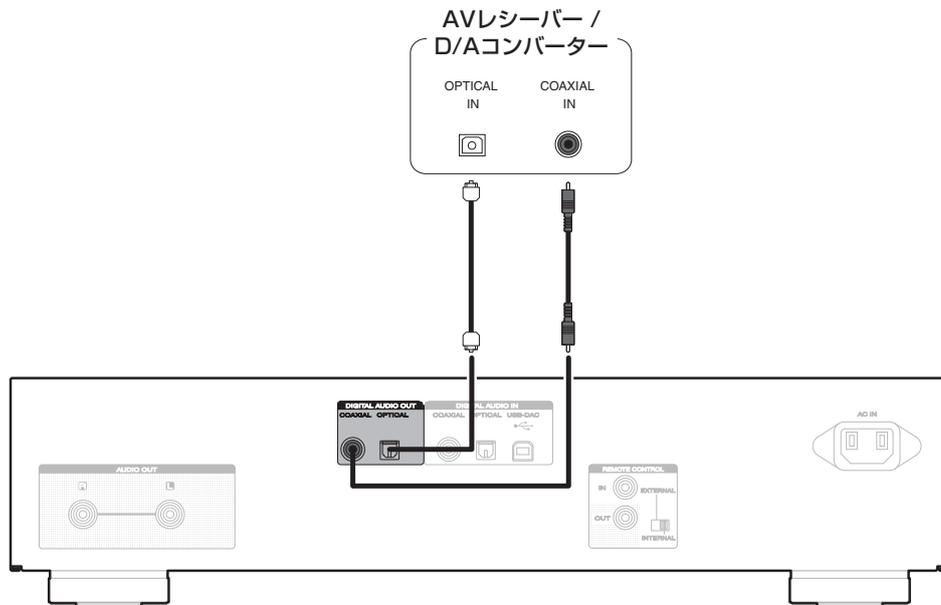
音声ケーブル (付属)	
リモート接続ケーブル (付属)	
光伝送ケーブル (別売り)	
同軸デジタルケーブル (別売り)	
USBケーブル (別売り)	

アンプを接続する



デジタル音声入力端子付きの機器を接続する

本機からデジタル音声信号を出力し、接続した機器のD/AコンバーターでD/A変換をおこなって再生する接続です。

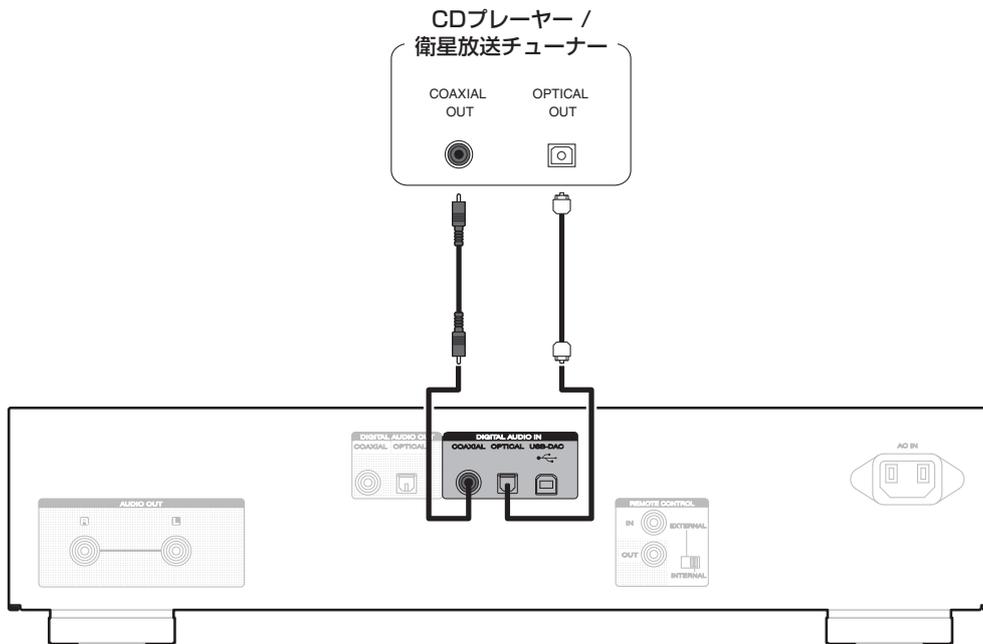


ご注意

- スーパーオーディオ CD の CD レイヤー、CD、USB、USB-DAC (PCM 信号)、COAXIAL と OPTICAL のデジタル音声信号を再生中に、デジタル音声出力ができます。
- スーパーオーディオ CD の HD レイヤーと USB-DAC (DSD 信号およびサンプリング周波数が 32kHz のリニア PCM 信号) の再生中は、デジタル音声出力を停止します。

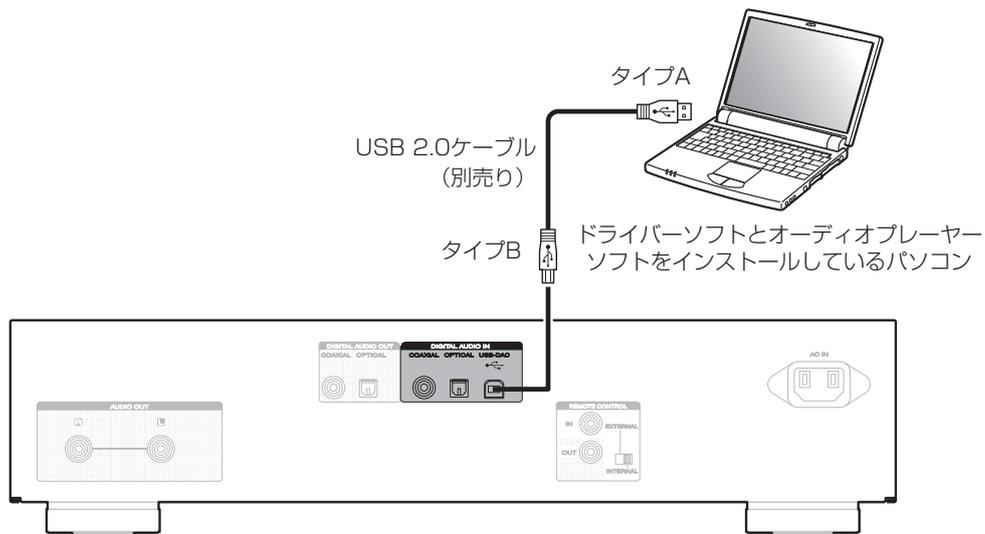
デジタル音声出力端子付きの機器を接続する

本機にデジタル音声信号を入力し、本機のD/AコンバーターでD/A変換をおこなって再生する接続です（[P.44](#)ページ「本機をD/Aコンバーターとして使用する」）。



パソコンと接続する

本機のリアパネルのUSB端子（USB-DAC）とパソコンをUSBケーブル（別売り）で接続すると、パソコンの音楽データを本機のD/Aコンバーターで再生できます（[P.44](#)ページ「本機をD/Aコンバーターとして使用する」）。



- ハイレゾリューション音源（DSD信号や192kHz / 24bitのPCM信号）を再生するには、本機とパソコンをUSB接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください（「専用ドライバーソフトのインストール（Windows OSのみ）」（[P.45](#)ページ））。
- ドライバーソフトは当社ウェブサイトのSA8005のページからダウンロードしてください。

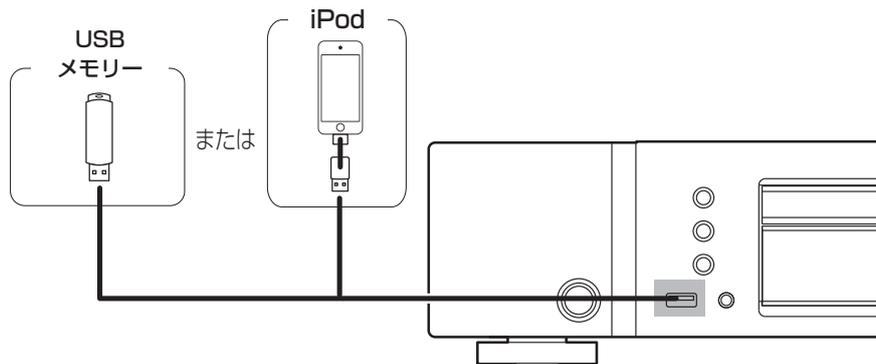
ご注意

- パソコンとの接続には、3m以下のケーブルをご使用ください。

USB端子にiPodまたはUSBメモリーを接続する

iPod/iPhoneやUSBメモリー内の音楽を楽しむことができます。

- 本機とiPod/iPhoneを接続するときは、iPod/iPhoneに付属のUSBケーブルを使用してください。
- 操作のしかたは、「iPodを再生する」(P.38ページ)または「USBメモリーを再生する」(P.41ページ)をご覧ください。



- すべてのUSBメモリーに対して、動作および電源の供給を保証するものではありません。USB接続タイプのポータブルHDDで、ACアダプターを接続して電源が供給できるタイプのものを使用する場合は、ACアダプターのご使用をおすすめします。

ご注意

- USBメモリーはUSBハブ経由では動作しません。
- 本機のフロントパネルのUSB端子とパソコンをUSBケーブルで接続して使用することはできません。パソコンと接続するときは、リアパネルのデジタル音声入力のUSB-DAC端子（タイプB）と接続してください。
- USBメモリーを接続するときに、延長ケーブルを使用しないでください。他の機器に電波障害を引き起こす場合があります。

■ 対応しているiPod/iPhone

• iPod classic



iPod classic
80GB



iPod classic
160GB (2007)



iPod classic
160GB (2009)

• iPod nano



iPod nano
3rd generation
(video)
4GB 8GB



iPod nano
4th generation (video)
8GB 16GB



iPod nano
5th generation (video camera)
8GB 16GB



iPod nano
6th generation
8GB 16GB



iPod nano
7th generation
16GB

• iPod touch



iPod touch
1st generation
8GB 16GB 32GB



iPod touch
2nd generation
8GB 16GB 32GB



iPod touch
3rd generation
32GB 64GB



iPod touch
4th generation
8GB 32GB 64GB



iPod touch
5th generation
16GB 32GB 64GB

• iPhone



iPhone
4GB 8GB 16GB



iPhone 3G
8GB 16GB



iPhone 3GS
8GB 16GB 32GB



iPhone 4
8GB 16GB 32GB



iPhone 4S
16GB 32GB 64GB



iPhone 5
16GB 32GB 64GB

リモートコントロール端子付きの機器を接続する

本機とマランツ製のアンプをリモート接続すると、本機はアンプが受信したリモコン信号をアンプから入力して動作します。次の「接続」と「設定」をおこなってください。

接続

付属のリモート接続ケーブルを使用して、本機のREMOTE CONTROL IN端子とアンプのREMOTE CONTROL OUT端子を接続します。

設定

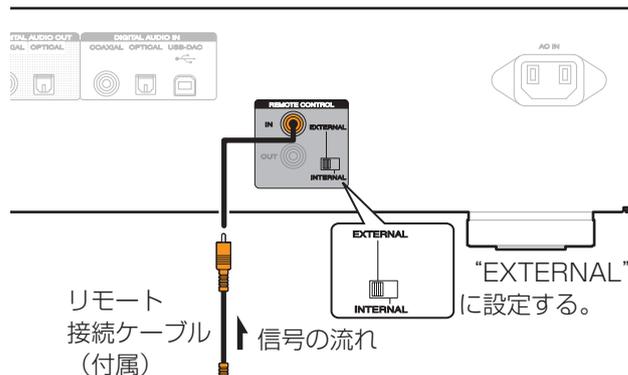
本機のEXTERNAL/INTERNALスイッチを“EXTERNAL”に切り替えます。

- 本機はリモコン受光部の受信を停止します。
- リモコンはアンプのリモコン受光部に向けて操作してください。

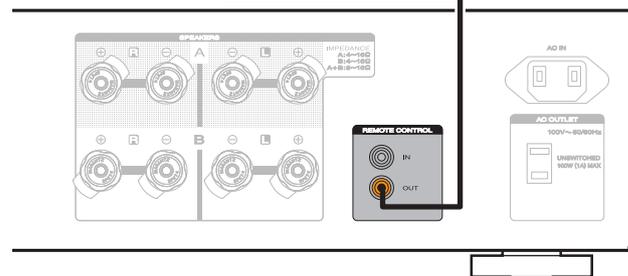


- アンプを接続せずに本機のみご使用になる場合は、EXTERNAL/INTERNALスイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。

本機

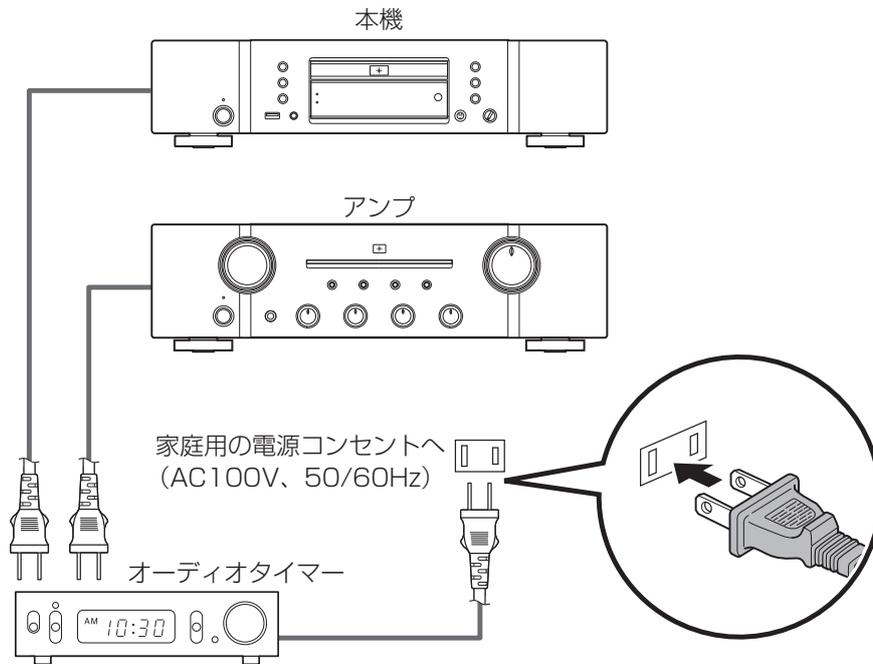


アンプ



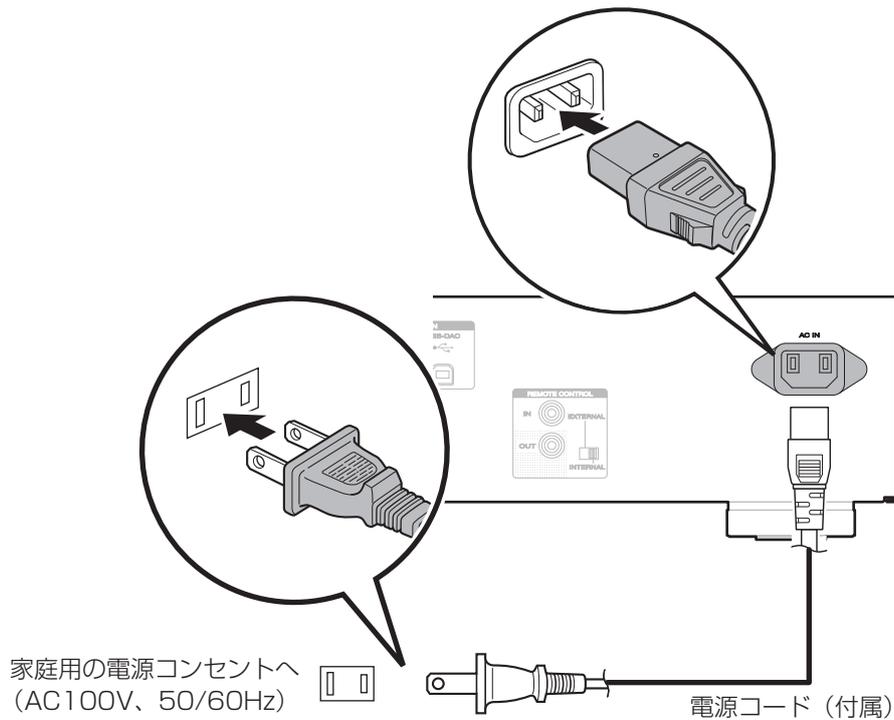
オーディオタイマーに接続する

本機にアンプおよびオーディオタイマーを接続すると、タイマー再生ができます（[P.54](#)ページ「Timer Play（タイマー再生）」）。



電源コードを接続する

すべての接続が完了したら、電源プラグをコンセントに差し込みます。



再生のしかた

電源を入れる (☞29ページ)

再生するメディアモードを選択する (☞30ページ)

ディスプレイの明るさを切り替える (☞30ページ)

デジタル音声出力を停止する (☞30ページ)

スーパーオーディオCDの最優先再生レイヤーを切り替える
(☞31ページ)

CDおよびスーパーオーディオCDを再生する (☞32
ページ)

データCDを再生する (☞35ページ)

iPodを再生する (☞38ページ)

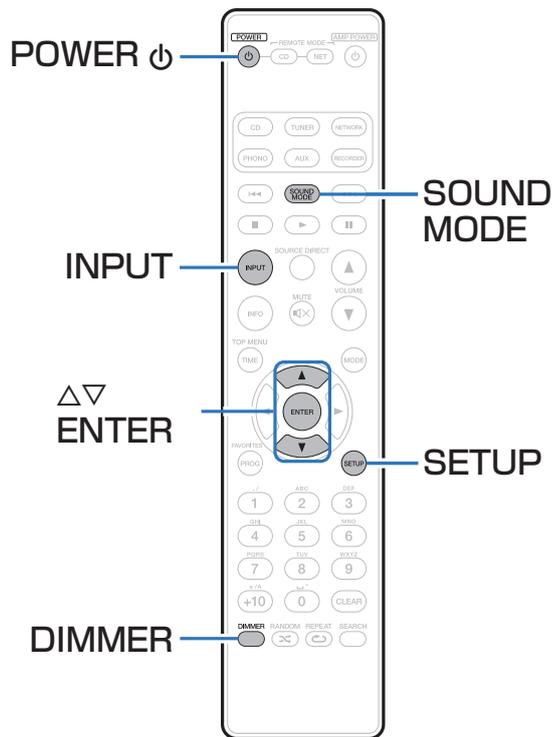
USBメモリーを再生する (☞41ページ)

本機をD/Aコンバーターとして使用する (☞44ページ)

パソコンと接続して再生する (USB-DAC) (☞45
ページ)

デジタル機器と接続して再生する (Coaxial/Optical)
(☞51ページ)

基本操作



電源を入れる

- 1 POWER  を押して、電源を入れる。
電源表示が消灯します。



- 本体の  を押しても電源を入れることができます。

■ 電源をスタンバイにする

- 1 POWER  を押す。
電源表示が赤色に点灯します。

ご注意

- 電源をスタンバイ状態にしても、一部の回路は通電しています。長期間の外出やご旅行の場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

再生するメディアモードを選択する

1 INPUTを押して、再生するメディアモードを選ぶ。

Disc : ディスクを再生するときに選択します。

USB : iPodやUSBメモリーを再生するときに選択します。

USB-DAC / Coaxial / Optical :

本機をD/Aコンバーターとして使用するときを選択します。



- 本体のDISC/INPUTを押しても、メディアモードを選択できます。

ディスプレイの明るさを切り替える

ディスプレイの明るさを4段階で調節できます。ディスプレイの明るさを消灯にすると、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 DIMMERを押す。



- ディスプレイの明るさを消灯にすると、ディスプレイオフ表示が点灯します。
- 再生中以外にDIMMERを押してもディスプレイは消灯しません。

デジタル音声出力を停止する

デジタル音声出力を停止することにより、音質に影響を与えるノイズ源を抑え、高音質な再生ができます。

1 停止中にSETUPを押す。

2 Δ / ∇ を押して“Digital Out”を選び、ENTERを押す。

3 Δ / ∇ を押して“Off”を選び、ENTERを押す。

On (お買い上げ時の設定) : デジタル音声信号を出力します。

Off : デジタル音声信号を出力しません。



- デジタル音声出力を“Off”にすると、ディスプレイの“DOFF”表示が点灯します。
- デジタル音声出力の設定は、ディスクトレイを開けたり、電源をオフにしたりしても解除されません。

スーパーオーディオCDの最優先再生レイヤーを切り替える

ディスクを入れたあとに優先的に再生するレイヤーを設定できます。

1 INPUTを押して、再生するメディアモードを“Disc”にする。

2 ディスクが入っていないことを確認する。

- ディスクを入れたあとにレイヤーの切り替えをおこなうと、そのディスクの再生レイヤーは切り替わりますが、最優先再生レイヤーの設定は変わりません。

3 SOUND MODEを押して、再生するレイヤーを切り替える。

STEREO（お買い上げ時の設定）：

スーパーオーディオCDの2チャンネルエリアを再生します。

MULTI：スーパーオーディオCDのマルチチャンネルエリアを再生します。また、マルチチャンネルを2チャンネルにダウンミックスして再生します。

CD：スーパーオーディオCDのCDレイヤーを再生します。

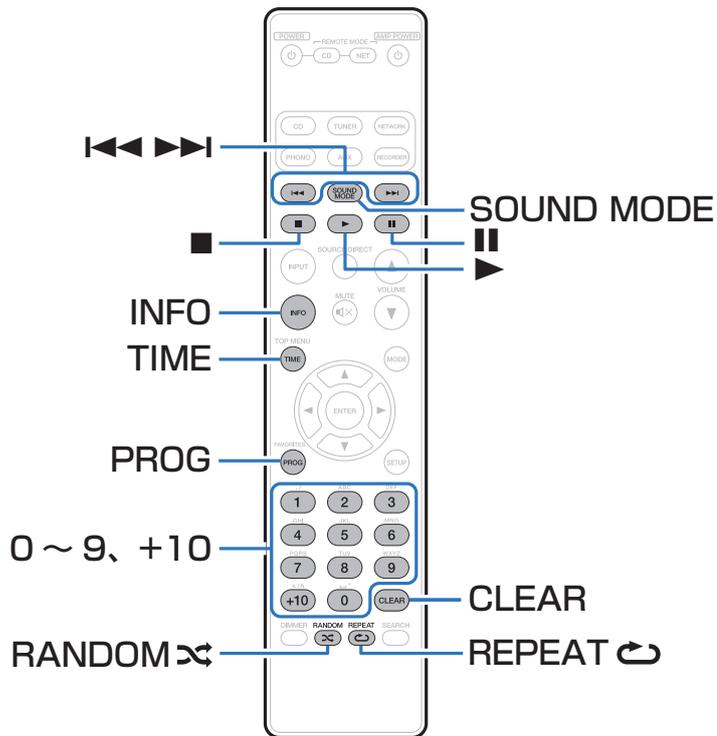


- 最優先再生レイヤーを設定後、ディスクを読み込んだときに再生するレイヤーを表示します。
- 最優先に設定したレイヤーを含まないディスクを読み込んだとき、自動的に他のレイヤーを表示します。
- この設定は、ディスクトレイの開閉や電源をオン/オフしても解除されません。設定を変更したい場合は、設定し直してください。
- ディスクを入れたあとや、ディスプレイに“Open”を表示しているときは、最優先再生レイヤーの設定はできません。
- 最優先再生レイヤーに設定したエリアやレイヤーがないディスクのレイヤー検出順位は、次のとおりです。
① STEREO ② MULTI ③ CD

CDおよびスーパーオーディオCDを再生する

CDおよびスーパーオーディオCDを再生する

- 1 ディスクを入れる (P.72ページ)。
・本体の▲を押すと、ディスクトレイが開閉します。
- 2 スーパーオーディオCDを再生するとき
は、SOUND MODEを押して再生するレイヤーを
切り替える (P.31ページ)。
- 3 ▶を押す。
ディスプレイの▶表示が点灯し、再生をはじめます。



操作ボタン	機能
▶	再生
	一時停止
■	停止
⏮ ⏭	再生中の曲の先頭または前の曲にスキップ/次の曲の先頭にスキップ (長押し) 早戻し/早送り
0~9, +10	曲の選択
RANDOM ∞	ランダム再生 ・停止中に設定できます。
REPEAT ↺	リピート再生 ・全曲リピートと1曲リピートを切り替えます。
TIME	時間表示切り替え ・再生曲の経過時間、再生曲の残り時間および全曲の残り時間の表示を切り替えます。
INFO	テキスト情報表示 ・メディアに記録されているテキスト情報を表示します。

ご注意

- ・ディスプレイにはCD以外のものを入れしないでください。故障の原因となります。
- ・電源がスタンバイの状態、ディスプレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。

■ 再生できるディスクについて

「ディスク」(P.67ページ)をご覧ください。

■ 好きな曲を聴く (ダイレクト選曲)

1 0~9, +10を押して、曲番を選ぶ。

【例】

4曲目 : 数字ボタンの4を押します。

12曲目 : 数字ボタンの+10と2を押します。

■ ディスプレイの表示を切り替える

INFOを押す。

メディアに記録されているテキスト情報を表示します。

- ・メディアによって表示する内容が異なります (テキスト情報はスーパーオーディオCDでのみ表示します)。
- ・表示できる文字は次のとおりです。

ABCDEFGHIJKLMN OPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

0123456789

!"#\$%&:;<>?@\[_`|}{~^'()*+
,-. / = (空白)

お好みの順序で再生する (プログラム再生)

プログラム再生は、最大20曲まで設定できます。

- 1 停止中に、PROGを押す。**
ディスプレイに“PROG”を表示します。
- 2 0~9、+10を押して、曲番を選ぶ。**
【例】
3曲目、12曲目の順にプログラムしたいときは、3を押したあと、+10と2を続けて押します。
- 3 ▶を押す。**
プログラムした順番に再生をはじめます。



- プログラム再生中にREPEAT  を押すと、プログラムした曲順をくり返し再生します。

ご注意

- ディスクトレイを開くか電源を切ると、プログラム再生を解除します。

■ プログラムした曲順を確認する

停止中に▶▶Iを押す。
押すたびにプログラムした順で曲番を表示します。

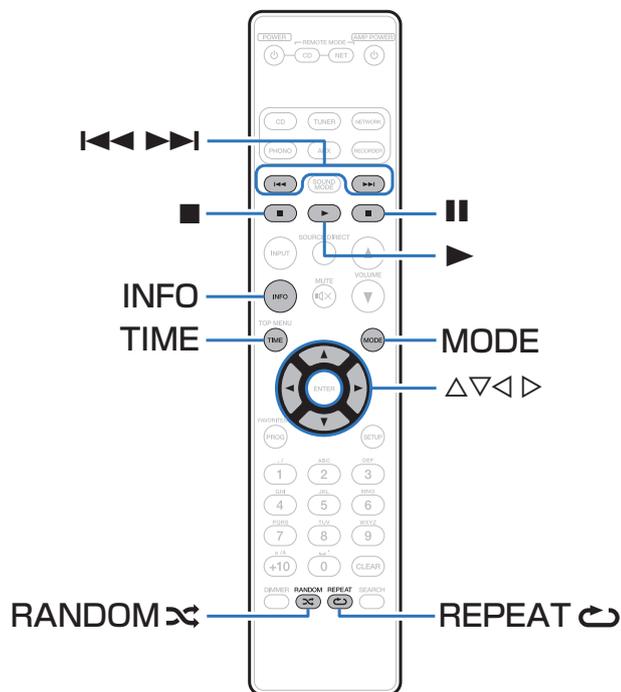
■ プログラムした最後の曲を取り消す

停止中にCLEARを押す。
押すたびに最後にプログラムした曲を取り消します。

■ プログラムした曲をすべて取り消す

停止中にPROGを押す。

データCDを再生する



- ここでは、CD-RまたはCD-RWに記録しているMP3、WMAファイルの再生のしかたを説明します。
- インターネットのホームページ上には、MP3形式やWMA（Windows Media[®] Audio）形式の音楽ファイルをダウンロードできるさまざまな音楽配信サイトがあります。そのサイトからダウンロードした音楽（ファイル）をCD-RまたはCD-RWに書き込むことにより、本機で再生できます。

“Windows Media” および “Windows” は、米国やその他の国で、米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。

ファイルを再生する

1 MP3およびWMA形式の音楽ファイルを記録したCD-R/CD-RWをディスクトレイに入れる (参照72ページ)。

- 本体の **▲** を押すとディスクトレイが開閉します。

2 MODEを押して、“Folder” または “All Files” を選ぶ。

□ ディスプレイ表示について

- “Folder” を選んだとき
選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
- “All Files” を選んだとき
選択したフォルダやファイルを再生したあと、すべてのフォルダ内のすべての曲を再生します。

3 **△▽**を押して、再生したいフォルダを選ぶ。

4 **◀▷**を押して、再生したいファイルを選ぶ。

5 **▶**を押す。
再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶	再生
 	一時停止
■	停止
◀◀ ▶▶	再生中の曲の先頭または前の曲にスキップ/次の曲の先頭にスキップ (長押し) 早戻し/早送り
△▽	フォルダを選択
◀▷	ファイルを選択
MODE	フォルダ再生モードの切り替え • 選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
RANDOM 	ランダム再生 • 停止中に設定できます。 • ランダム再生中は “All Files” に切り替わります。
REPEAT 	リピート再生 • 全曲リピートと1曲リピートを切り替えます。
TIME	経過時間表示 • 再生曲の経過時間を表示します。
INFO	テキスト情報表示 • メディアに記録されているテキスト情報を表示します。



- 本機はディスク読み込み時に、フォルダの番号とファイルの番号を自動的に設定します。

ご注意

- MP3/WMAファイルはプログラム再生できません。
- 著作権保護されたファイルは再生できません。
また、書き込みソフトやその他の要因により、再生できない場合や正しく表示できない場合があります。

■ 再生できるファイルについて

「データCD」(P.68ページ)をご覧ください。

■ 再生中にフォルダやファイルを変える

- フォルダ
△▽ を押して、フォルダを選ぶ。
- ファイル
◀▶ を押して、ファイルを選ぶ。
または、◀◀、▶▶ を押して、ファイルを選ぶ。
- ファイル番号は、ディスク読み込み時に自動で設定します。

■ ディスプレイの表示を切り替える

再生中にINFOを押す。

- 再生曲のファイル名とフォルダ名を切り替えて表示します。
- 本機はファイル名とフォルダ名をタイトルのように表示できます。英数字、アルファベットおよびアンダースコアを11文字まで表示します。表示できない文字はアスタリスクで表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

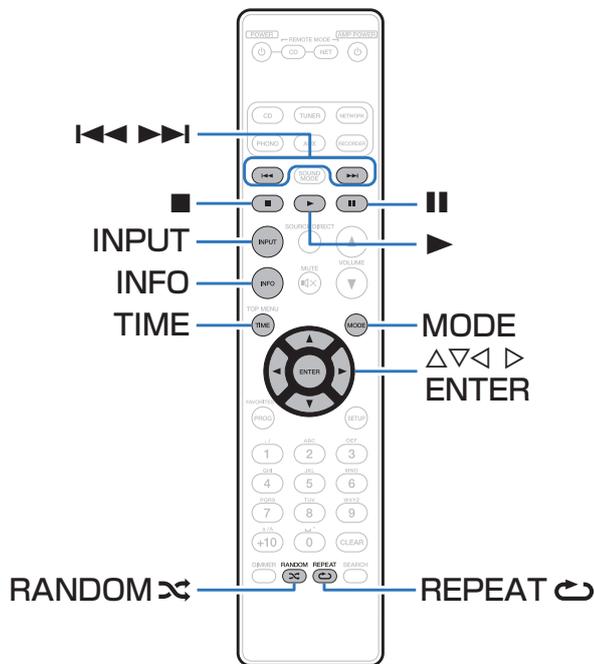
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ

abcdefghijklmnopqrstuvwxyz

0123456789

!"#\$%&:;<>?@\[_`|}{~^'()*+
,-. / = (空白)

iPodを再生する



- iPodに付属しているUSBケーブルを使用してiPodを本機のUSB端子に接続すると、iPodの音楽を楽しむことができます。
- 本機で再生できるiPodは、「対応しているiPod/iPhone」(P.24ページ)をご覧ください。



“Made for iPod” and “Made for iPhone” mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards.

Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.

iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, iPod shuffle, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

- iPhone、iPod、iPod classic、iPod nano、iPod shuffleおよびiPod touchは、著作権のないコンテンツまたは法的に複製、再生を許諾されたコンテンツを個人が私的に複製、再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。

iPodの曲を再生する

- 1 INPUTを押して、再生するメディアモードを“USB”にする（ 30ページ）。
- 2 iPodをUSB端子に接続する（ 23ページ）。本体のディスプレイに“Direct iPod”を表示します。
- 3 iPodの画面を見ながら直接iPod本体を操作して、音楽を再生する。



- iPodの表示モードには、“Direct iPod”と“Remote iPod”があります。お買い上げ時の設定は、iPodの画面を見ながら直接iPod本体を操作する“Direct iPod”です。

ご注意

- iPodの種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。
- 万一iPodのデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。

オペレーションモードの設定 (Remote iPodモード)

iPodの各種リストや再生中の表示を本機のディスプレイに表示します。
ここでは、“Remote iPod” でiPod内の曲を再生するまでの手順を説明します。

1 MODEを押し、本体のディスプレイに“Remote iPod”を表示します。

表示モード		Direct iPod	Remote iPod
再生できる ファイル	音楽ファイル	✓	✓
	映像ファイル	*	
操作できる ボタン	本機の リモコン	✓	✓
	iPod	✓	

* 音声のみ再生します。

2 △▽を押し再生したいファイルを選び、ENTERを押す。 再生をはじめます。

操作ボタン	機能
▶	再生
	一時停止
■	停止
⏮ ⏭	再生中の曲の先頭または前の曲にスキップ/ 次の曲の先頭にスキップ (長押し) 早戻し/早送り
RANDOM ⌘	ランダム再生
REPEAT ⏮	リピート再生 ・全曲リピートと1曲リピートを切り替えます。
MODE	iPod操作モードの設定 ・“Direct iPod” と “Remote iPod” を切り替えます。
TIME	経過時間表示 ・再生曲の経過時間を表示します。
INFO	テキスト情報表示 ・メディアに記録されているテキスト情 報を表示します。
△▽◀▶	項目の選択

ご注意

- ・万一iPodのデータが消失または損傷しても、当社は一切責任を負いません。
- ・iPodの種類またはソフトウェアのバージョンによっては、機能の一部が動作しない場合があります。

■ ディスプレイの表示を切り替える

再生中にINFOを押す。

- ・曲名、アーティスト名およびアルバム名を切り替えて表示します。

USBメモリーに保存されているファイルを再生する

- 1 INPUTを押して、再生するメディアモードを“USB”にする（ 30ページ）。
- 2 USBメモリーを本機のUSB端子に接続する（ 23ページ）。
- 3 MODEを押して、“Folder” または “All Files” を選ぶ。
 - ディスプレイ表示について
 - “Folder” を選んだとき
選択したフォルダ内のすべての曲を再生します。
 - “All Files” を選んだとき
選択したフォルダやファイルを再生したあと、すべてのフォルダ内のすべての曲を再生します。
- 4  を押してフォルダを選び、ENTERを押す。
- 5  を押してファイルを選び、ENTERを押す。
再生をはじめます。

操作ボタン	機能
	再生
	一時停止
	停止
	再生中の曲の先頭または前の曲にスキップ/次の曲の先頭にスキップ (長押し) 早戻し/早送り
RANDOM 	ランダム再生
REPEAT 	リピート再生 ・全曲リピートと1曲リピートを切り替えます。
MODE	フォルダ再生モードの切り替え ・“Folder” と “All Files” を切り替えます。
TIME	経過時間表示 ・再生曲の経過時間を表示します。
INFO	テキスト情報表示 ・メディアに記録されているテキスト情報を表示します。
 	項目の選択



- ・メニューの「USB Resume (レジューム設定)」 ( 55ページ) を “On” に設定すると、次の動作をします。
- ・メディアモードが “USB” のときにUSBメモリーを接続すると、自動的に再生をはじめます。
- ・USBメモリーを本機に接続しているときにメディアモードを “USB” に切り替えると、自動的に再生をはじめます。

ご注意

- USBメモリーを本機と接続して使用しているときに、万一USBメモリーのデータが消失または損傷した場合、当社は一切責任を負いません。

■再生できるファイルについて

「USBメモリー」(P.68ページ)をご覧ください。

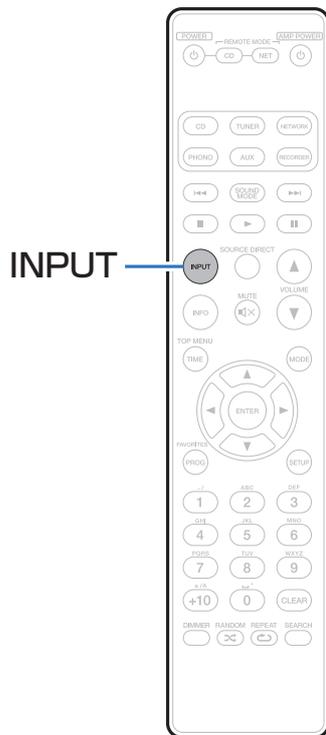
■ディスプレイの表示を切り替える

再生中にINFOを押す。

- 曲名、アーティスト名およびアルバム名を切り替えて表示します。
- WAVファイルを再生しているときは、ファイル名のみ表示します。
- 表示できる文字は次のとおりです。

ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
0123456789
! " # \$ % & ; < > ? @ \ [] _ ` | { } ~ ^ ' () * +
, - . / = (空白)

本機をD/Aコンバーターとして使用する



外部機器やパソコンから本機に入力されるデジタル音声信号を、本機でアナログ変換して出力できます（D/Aコンバーター機能）。

- DSDは、登録商標です。
- Microsoft、Windows XP、Windows Vista、Windows 7とWindows 8は、米国Microsoft Corporationの、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Apple、Macintosh、Mac OSは、米国および他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。

パソコンと接続して再生する (USB-DAC)

- パソコンに保存しているPCM信号やDSD信号の音楽ファイルをUSB接続で本機に入力すると、本機に搭載しているD/Aコンバーターで、高音質な音楽再生をお楽しみいただけます。
- 本機とパソコンをUSB接続する前にパソコンに専用ドライバーソフトをインストールしてください。
- Mac OSをご使用の場合は、ドライバーソフトのインストールは必要ありません。
- パソコンの再生プレーヤーには市販品またはダウンロード可能なお好みのプレーヤーソフトをご使用ください。

■ パソコン (推奨システム)

OS

- Windows® XP Service Pack3、Windows® Vista、Windows 7およびWindows 8
- Mac OS X 10.6.3以降

USB

- USB 2.0 : USB High speed/USB Audio Class Ver.2.0

ご注意

ご使用のパソコンが“Mac OS”の場合は、“Audio MIDI 設定”で、“USB High Speed Audio”のフォーマットが“192000.0 Hz”以下に設定されているか、確認してください。

■ 専用ドライバーソフトのインストール (Windows OSのみ)

□ パソコンへドライバーソフトをインストールするしかた

- 1 本機とパソコンのUSB接続を外す。**
 - 本機とパソコンをUSB接続しているとドライバーソフトを正しくインストールできません。
 - パソコンにドライバーソフトをインストールする前に、本機とUSB接続してパソコンを立ち上げた場合、USB接続を外して、パソコンを再起動してください。
- 2 ご使用のパソコンに、当社ウェブサイトSA8005のページの“ダウンロード”から専用ドライバーをダウンロードする。**
- 3 ダウンロードファイルを解凍し、ご使用のパソコンのWindows OSに合わせて32bit版または64bit版のexeファイルを選び、ダブルクリックする。**

4 ドライバソフトをインストールする。

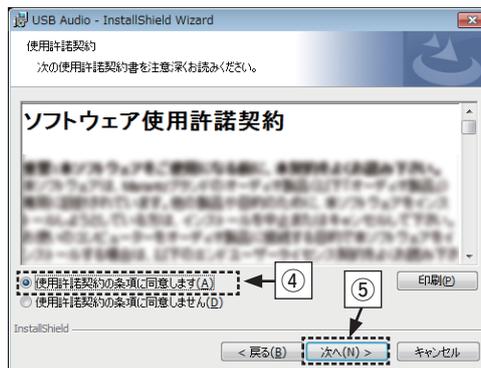
- ① インストール作業をおこなう言語を選ぶ。
- ② “OK(O)” をクリックする。



- ③ ウィザードメニューが表示されたら “次へ(N)” をクリックする。



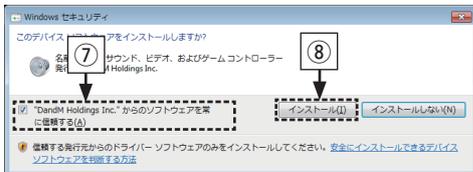
- ④ ソフトウェア使用許諾メニューを読み、“使用許諾契約の条項に同意します(A)” を選ぶ。
- ⑤ “次へ(N)” をクリックする。



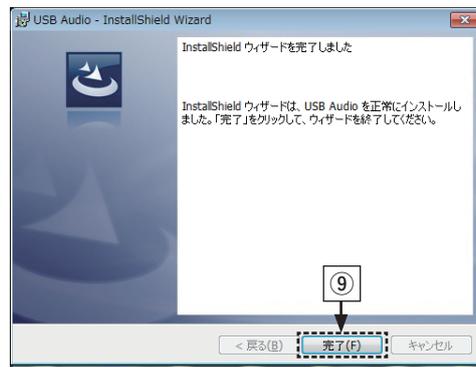
- ⑥ インストール開始ダイアログの“インストール(I)”をクリックする。
- インストールをはじめます。インストールが終了するまでパソコンの操作をしないでください。



- ⑦ Windowsセキュリティダイアログの“DandM Holdings Inc.”からのソフトウェアを常に信頼する(A)”を選ぶ。
- ⑧ “インストール(I)”をクリックする。



- ⑨ インストール終了画面を表示したら“完了(F)”をクリックする。



- 5 本機の電源をオフにしたまま、本機とパソコンをUSBケーブル（別売り）で接続する。
- 接続のしかたは「パソコンと接続する」（P22ページ）をご覧ください。
- 6 POWER ❷ を押す。
- 本機の電源がオンになると、パソコンは自動的に本機を検出して接続をおこないます。
- 7 INPUTを押して、再生するメディアモードを“USB-DAC”にする。

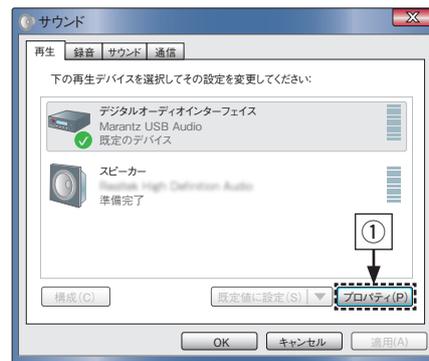
8 インストールしたドライバーを確認する。

- ① パソコン画面の“スタート”をクリックして、“コントロールパネル”をクリックする。
 - コントロールパネルの設定一覧を表示します。
- ② “サウンド”をクリックする。
 - サウンドメニュー画面を表示します。
- ③ “再生”タブの“デジタルオーディオインターフェース”に“既定のデバイス”のチェックマークがあることを確認する。
 - 他のデバイスにチェックマークがあるときは、“Marantz USB Audio”を選択してから“既定値に設定”をクリックしてください。

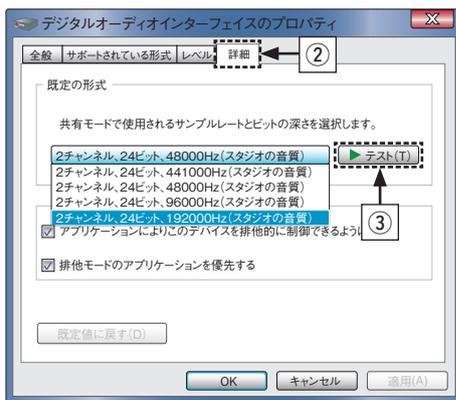
9 音声出力を確認する。

パソコンからテスト信号を出力してUSB-DAC機能の音声出力を確認します。

- ① サウンドメニュー画面の“デジタルオーディオインターフェース”を選び、“プロパティ”をクリックする。
 - デジタルオーディオインターフェースのプロパティ画面を表示します。



- ② “詳細” タブをクリックする。
- ③ D/A変換をおこなうサンプリング周波数とビット数を選ぶ。
 - “24ビット、192000 Hz (スタジオの音質)” に設定することをおすすめします。
- ④ “適用(A)” をクリックする。
- ⑤ “テスト(T)” をクリックする。
 - 本機からパソコンの音声が出力されることを確認します。



ご注意

- 専用ドライバーはパソコンと本機をUSB接続する前にインストールしてください。ドライバーのインストール前に本機とパソコンを接続すると正しく動作しません。また、OSにWindows XPをご使用の場合、パソコンの動作が著しく遅くなり、パソコンの再起動が必要になる場合があります。
- パソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、動作しない場合があります。

■再生のしかた

あらかじめご使用のパソコンにお好みのプレーヤーソフトをインストールしてください。

本機のリアパネルのUSB端子にパソコンを接続してください。接続のしかたは「パソコンと接続する」(P.22ページ)をご覧ください。

1 INPUTを押して、再生するメディアモードを“USB-DAC”にする。

パソコンのプレーヤーソフトで再生をはじめます。

入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

“USB : xxxxk” または “USB : DSD xxxM”
(xxxxにはサンプリング周波数を表示します。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、“Unlock”を表示します。

■再生できるファイルについて

「D/Aコンバーター」(P.71ページ)をご覧ください。

ご注意

- 再生、停止などはパソコンで操作してください。本体のボタンおよびリモコンでは操作できません。
- パソコンでは、音量およびイコライザーの調節もできます。お好みの音量でお楽しみください。
- 本機がD/Aコンバーターとして機能しているときは、パソコン本体のスピーカーから音声は出力されません。
- パソコンの再生ソフトを起動中に、本機とパソコンの接続を外すと、再生ソフトがフリーズすることがあります。必ず再生ソフトを終了してから接続を外してください。
- パソコン側で異常が発生したときは、USBケーブルを抜いてパソコンを再起動してください。
- 再生ソフトのサンプリング周波数と本機のサンプリング周波数表示が異なることがあります。

デジタル機器と接続して再生する (Coaxial/Optical)

1 本機にデジタル機器を接続する (P21ページ)。

2 INPUTを押して、再生するメディアモードを“Coaxial”または“Optical”にする。

- 入力しているデジタル音声信号を次のように表示します。

“Coax : xxxk” または “Opt : xxxk”
(xxxkにはサンプリング周波数を表示します。)

- サンプリング周波数を検出できない場合は、ディスプレイに“Unlock”を表示します。

■ 再生できるファイルについて

「D/Aコンバーター」 (P71ページ) をご覧ください。

ご注意

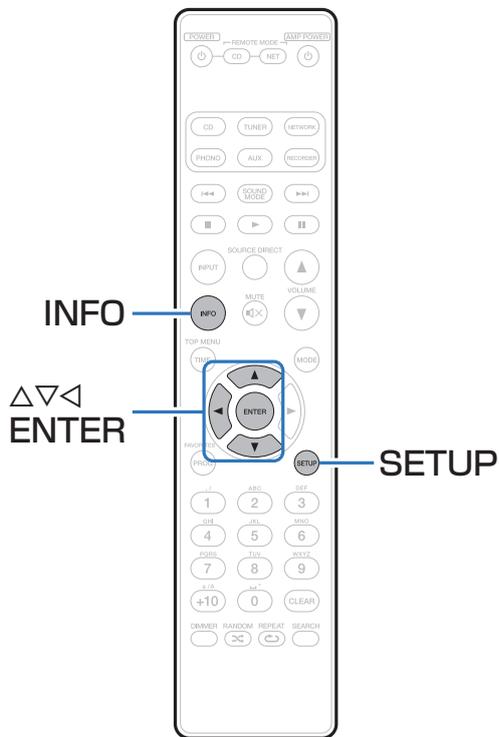
- ドルビーデジタル、DTS、AACなどのリニアPCM以外の信号は入力しないでください。雑音が発生し、スピーカーが破損する恐れがあります。
- CS放送のAモードからBモードなど、サンプリング周波数が切り替わったときには、1~2秒程度消音になり、音が途切れることがあります。

設定のしかた

メニュー 一覧

本機はお買い上げ時の設定をおすすめの設定にしております。ご使用のシステムやお好みに合わせて本機をカスタマイズすることができます。

設定項目	内 容	参照ページ
Timer Play (タイマー再生)	別売りのオーディオタイマーと連動したタイマー再生をするかしないかを設定します。	54
Disp Info (ディスプレイ表示)	iPodやUSBメモリーの再生中に表示する情報を設定します。	54
iPod	iPodの再生中に表示する情報を設定します。	54
USB	USBメモリーの再生中に表示する情報を設定します。	54
USB Resume (レジューム設定)	再生を停止したときに、停止した位置を記録させるかさせないかを設定します。	55
Digital Out (デジタル音声出力)	デジタル音声信号を出力するかしないかを設定します。	55
Audio Out (アナログ音声出力)	アナログ音声出力の音量を固定にするか、可変にするかを設定します。	55
Vol.Limit (音声出力の上限)	アナログ音声出力を可変にした場合の音量の上限を設定します。	56
Auto Stnby (オートスタンバイ)	何も操作せずに停止した状態や入力信号がない状態が約30分続いた場合に、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。	56



■メニューの操作のしかた

- 1 停止中にSETUPを押す。
ディスプレイにメニューを表示します。
- 2 Δ / ∇ を押して設定または操作したいメニューを選び、ENTERを押す。
- 3 Δ / ∇ を押して、お好みの設定に変更する。
- 4 ENTERを押して、設定を確定する。
 - 前の項目に戻るときは、 \triangleleft を押してください。
 - メニューを終了するときには、メニュー表示中にSETUPを押してください。通常表示に戻ります。

Timer Play (タイマー再生)

別売りのオーディオタイマーと連動したタイマー再生をするかしないかを設定します。

On：タイマー再生をします。

Off (お買い上げ時の設定)：タイマー再生をしません。

■ タイマーを使用して再生する

- 1 接続した各機器の電源を入れる。
- 2 アンプの入力ソースを本機に切り替える。
- 3 本機にディスクを入れるか、USB端子にUSBメモリーまたはiPodを接続する。
- 4 オーディオタイマーを希望時刻に設定する。
 - ・オーディオタイマーの取扱説明書もあわせてご覧ください。
- 5 オーディオタイマーを“オン”に設定する。
 - ・オーディオタイマーに接続された機器の電源が切れます。
 - ・設定した時刻になると、自動的に各機器の電源が入り、1曲目から再生をはじめます。

ご注意

- ・タイマー再生では、ランダム再生およびプログラム再生はできません。

Disp Info (ディスプレイ表示)

iPodやUSBメモリーの再生中に表示する情報を設定します。

■ iPod

iPodの再生中に表示する情報を設定します。

Time (お買い上げ時の設定)：時間情報を表示します。

Title：曲名を表示します。

Artist：アーティスト名を表示します。

Album：アルバム名を表示します。



- ・再生中にINFOを押しても、表示する情報を切り替えることができます。

■ USB

USBメモリーの再生中に表示する情報を設定します。

Time (お買い上げ時の設定)：時間情報を表示します。

Title：曲名を表示します。

Artist：アーティスト名を表示します。

Album：アルバム名を表示します。



- ・再生中にINFOを押しても、表示する情報を切り替えることができます。

USB Resume (レジューム設定)

再生を停止したときに、停止した位置を記録させるかさせないかを設定します。

On (お買い上げ時の設定) : レジューム再生をします。

Remote : レジューム再生をしません。

ご注意

- レジューム設定を“On”にしているときに、USBメモリーを取り外してから再び接続してもレジューム再生をしますが、別のUSBメモリーを接続すると以前のUSBメモリーのレジューム情報は消去されます。
- USBメモリーを取り外してファイルの追加や削除をおこなった場合、レジューム情報が消去されることがあります。

Digital Out (デジタル音声出力)

デジタル音声信号を出力するかしないかを設定します。

On (お買い上げ時の設定) : デジタル音声信号を出力します。

Off : デジタル音声信号を出力しません。



- デジタル音声出力を“Off”にすると、ディスプレイの“DOFF”表示が点灯します。
- デジタル音声出力の設定は、ディスプレイを開けたり、電源をオフにしたりしても解除されません。

Audio Out (アナログ音声出力)

アナログ音声出力の音量を固定 (Fixed) にするか、可変 (Variable) にするかを設定します。

Fixed (お買い上げ時の設定) :

アナログ音声出力の音量を固定 (0dB) に設定します。

Variable : リモコンの音量調節ボタン (VOLUME ▲▼) でアナログ音声出力の音量調節ができます。



- “Fixed”または“Variable”を確定すると、“Are You Sure?”を約3秒間表示します。設定する場合は“OK”を選択し、中止する場合は“Cancel”を選択してください。
- アナログ音声出力の音量を調節するには、リモコンの設定をおこなってください (p.57ページ)。
- アナログ音声出力の音量を調節すると、ヘッドホンの音量も変化します。ヘッドホンをご使用になるときは、ヘッドホン音量調節つまみ (PHONE LEVEL) とあわせて適切に調節してください。
- “Variable”を選択した場合、---dB (最小)、-99dB~0dBの範囲で音量調節ができます (お買い上げ時の設定 : -40dB)。

ご注意

- アナログ音声出力の設定を可変 (Variable) から固定 (Fixed) に変更すると、音量は最大 (0dB) になりますのでご注意ください。
- 設定変更時は、アナログ音声出力端子 (AUDIO OUT) に接続しているアンプの音量や本機のヘッドホン音量を最小にしてください。

Vol.Limit（音声出力の上限）

アナログ音声出力を可変にした場合の音量の上限を設定します。

0dB：アナログ音声出力の音量の上限を0dBに設定します。

-10dB（お買い上げ時の設定）：

アナログ音声出力の音量の上限を-10dBに設定します。

-20dB：アナログ音声出力の音量の上限を-20dBに設定します。



- メニューの「Audio Out（アナログ音声出力）」（55ページ）の設定が“Variable”のときに設定できます。

Auto Stnby（オートスタンバイ）

何も操作せずに停止した状態や入力信号がない状態が約30分続いた場合に、自動的にスタンバイ状態になるように設定します。

On：約30分後に本機をスタンバイ状態にします。

Off（お買い上げ時の設定）：自動的に本機をスタンバイ状態にしません。



- 本機でiPodの充電中に本機の電源をスタンバイにしても、iPodの充電が続けます。

音量調節ボタンのリモコンコードを設定する

リモコンの音量調節ボタン (VOLUME ▲▼) のリモコンコードを“Variable” に設定すると、リモコンで本機のアナログ音声出力の音量を調節できます。

リモコンコードを設定したあと、必ずそれぞれの機器の動作を確認してください。

AMP (お買い上げ時の設定) : マランツ製アンプの音量を調節します。

Variable : 本機のアナログ音声出力の音量を調節します。

リモコンコードを“Variable” に設定する

- 1 **ENTERと数字ボタンの1を同時に5秒以上押す。**
リモートモード選択ボタン (REMOTE MODE CD) が約1秒間点灯します。

ご注意

- リモコンで本機のアナログ音声出力の音量を調節するには、メニューの「Audio Out (アナログ音声出力)」 (p.55ページ) の設定も“Variable” に設定してください。

リモコンコードを“AMP” に設定する

- 1 **ENTERと数字ボタンの2を同時に5秒以上押す。**
リモートモード選択ボタン (REMOTE MODE NET) が約1秒間点灯します。

ご注意

- リモコンから乾電池を取り外すとお買い上げ時の設定に戻ります。乾電池を交換した場合は、リモコンコードを再設定してください。

困ったときは

目次

■ こんなときの解決方法 (59)	■ 故障かな?と思ったら (60)
アナログオーディオ再生を高音質で楽しみたい..... (59)	電源が入らない/電源が切れる..... (60)
特定のフォルダのみを再生したい..... (59)	リモコンで操作ができない..... (61)
USBメモリーの再生を自動的に開始しないようにしたい..... (59)	本機のディスプレイが表示されない..... (61)
現在再生しているiPodの曲情報（曲名など）を 本体のディスプレイに表示させたい..... (59)	音がまったく出ない..... (62)
WAVファイルを再生したい..... (59)	音が途切れたり、ノイズが入ったりする..... (62)
本機で音量を調節したい..... (59)	ディスクが再生できない..... (63)
本機のリモコンを使用してマランツ製ネットワークオーディオ プレーヤーを操作したい..... (59)	パソコン内のファイルが再生できない..... (63)
スーパーオーディオCDのテキストを表示したい..... (59)	USBメモリーが再生できない..... (64)
	iPodが再生できない..... (65)
	iPodやUSBメモリー内のファイル名が正しく表示されない..... (65)

こんなときの解決方法

アナログオーディオ再生を高音質で楽しみたい

- メニューの“Digital Out”を“Off”に設定してください (P.55ページ)。
- DIMMERボタンを押して、ディスプレイの明るさを消灯にしてください (P.30ページ)。

特定のフォルダのみを再生したい

- MODEボタンを押して、再生モードを“Folder”に設定してください (P.36、42ページ)。

USBメモリーの再生を自動的に開始しないようにしたい

- メニューの“USB Resume”を“Off”に設定してください (P.55ページ)。

現在再生しているiPodの曲情報（曲名など）を本体のディスプレイに表示させたい

- MODEボタンを押して、表示モードをRemote iPodモードに設定してください (P.40ページ)。

WAVファイルを再生したい

- 本機はUSBメモリーに保存されたWAVファイルを再生できます (P.41ページ)。

本機で音量を調節したい

- メニューの“Audio Out”を“Variable”に設定してください (P.55ページ)。
- リモコンコードを“Variable”に設定してください (P.57ページ)。

本機のリモコンを使用してマランツ製ネットワークオーディオプレーヤーを操作したい

- リモコンのリモートモードNET切り替えボタン (REMOTE MODE NET) を押して、リモコンをネットワークオーディオプレーヤーの操作モードに切り替えてください (P.17ページ)。
- ネットワークオーディオプレーヤーの操作方法については、ネットワークオーディオプレーヤーの取扱説明書をご覧ください。

スーパーオーディオCDのテキストを表示したい

- 本機はスーパーオーディオCDのテキスト情報表示に対応しています。INFOボタンを押して表示情報を切り替えてください (P.33ページ)。

故障かな？と思ったら

1. 各接続は正しいですか
2. 取扱説明書に従って正しく操作していますか
3. 接続した機器は正しく動作していますか

本機が正しく動作しないときは、次の表に従ってチェックしてみてください。

なお、この表の各項にも該当しない場合は本機の故障とも考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。もし、お買い上げの販売店でおわかりにならない場合は、当社のお客様ご相談センターまたはお近くの修理相談窓口にご連絡ください。

■ 電源が入らない / 電源が切れる

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none">• コンセントへの電源プラグの差し込みを点検してください。• スタンバイモードになっています。本体の\odotボタンを押すかリモコンのPOWER \odotボタンを押してください。	27 29
電源が自動的に切れる。	<ul style="list-style-type: none">• オートスタンバイモードがオンになっています。オートスタンバイモードでは本機が停止状態で何も操作しない状態が30分以上続いたとき、自動的にスタンバイ状態になります。オートスタンバイモードを無効にするには、メニューの“Auto Stnby”を“Off”に設定してください。	56

■ リモコンで操作ができない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
リモコンで操作ができない。	• 乾電池が消耗しています。新しい乾電池と交換してください。	6
	• リモコンは、本機から約7mおよび30° 以内の範囲で操作してください。	6
	• 本機とリモコンの間の障害物を取り除いてください。	—
	• 乾電池の⊕と⊖を正しくセットしてください。	6
	• 本機のリモコン受光部に強い光（直射日光、インバーター式蛍光灯の光など）が当たっています。受光部に強い光が当たらない場所に設置してください。	—
	• 3D映像機器をご使用の場合、各ユニット間（テレビや3D視聴用メガネなど）の無線通信の影響によって本機のリモコンが効かなくなることがあります。その場合は、3D通信の各ユニットの向きと距離を調節して、本機のリモコンの動作に影響がないことを確認してください。	—
• リモートモードCD切り替えボタン（REMOTE MODE CD）を押して、リモコン操作モードを“CD”にしてください。	13	
• リアパネルのEXTERNAL/INTERNALスイッチを“INTERNAL”に切り替えてください。	25	

■ 本機のディスプレイが表示されない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
ディスプレイの表示が消える。	• DIMMERボタンを押して、消灯以外の設定に切り替えてください。	30

■音がまったく出ない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
音が出ない。または歪む。	<ul style="list-style-type: none"> • すべての機器の接続を確認してください。 • 接続ケーブルを奥まで挿してください。 • 入力端子と出力端子を間違えて接続していないか確認してください。 • ケーブルが破損していないか確認してください。 • アンプの設定を確認し、適切に調節してください。 • Audio Out（アナログ音声出力）の設定を確認し、適切に調節してください。 	18、19、 20、21、 22、23、 25、26、 27 – – – – 55

■音が途切れたり、ノイズが入ったりする

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
USBメモリー再生中に音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> • USBメモリーの転送速度が遅いとき、音が途切れることがあります。 	–
パソコンの曲を再生中に音が途切れる。	<ul style="list-style-type: none"> • ご使用のパソコンのハードウェアおよびソフトウェアの構成によっては、音が途切れることがあります。 	–

■ ディスクが再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
▶ ボタンを押しても再生しない。 または、ディスクの特定の場所が 正しく再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクが汚れたり、傷が付いたりしています。ディスクの汚れを拭き取るか、他のディスクと入れ替えてください。 	73
CD-R/CD-RWが再生できない。	<ul style="list-style-type: none"> ファイナライズをしていないディスクは再生できません。ファイナライズしたディスクをご使用ください。 記録状態が悪い、またはディスク自体の品質が悪いことが原因です。正しく記録したディスクをご使用ください。 本機のデータ CD 再生機能は MP3 および WMA のファイルのみに対応しています。 	67、74 — 68
“0 0:00” と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> 再生できないディスクを入れた場合には、“0 0:00” を表示します。 	72
“No Disc” と表示される。	<ul style="list-style-type: none"> ディスクを裏返しに入れた場合やディスクが入っていない場合には、“No Disc” を表示します。 	72

■ パソコン内のファイルが再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
パソコンで本機が認識されない。	<ul style="list-style-type: none"> ご使用のパソコンのOSを確認してください。 ご使用のパソコンがWindowsの場合は、専用ドライバーのインストールが必要です。 	45 45
“Unsupported” と表示 される。	<ul style="list-style-type: none"> 本機が対応していないフォーマットの音声信号を入力した場合は、“Unsupported” を表示します。パソコンまたはプレーヤーソフトの設定を確認してください。 ご使用のパソコンが“Mac OS”の場合は、“Audio MIDI設定”で、“USB High Speed Audio”のフォーマットが“192000.0 Hz”以下に設定されているか、確認してください。 	— —

■ USBメモリーが再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
<p>“No Device”、“Check FS”または“Check Device”と表示される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 接続不良などで、本機がUSBメモリーを認識できない場合があります。USBメモリーを接続し直すなど、接続を確認してください。 • マスストレージクラスのUSBメモリーに対応しています。 • USBハブを経由した接続はできません。USBメモリーはUSB端子に直接接続してください。 • USBメモリーのフォーマットをFAT16またはFAT32に設定してください。 • すべてのUSBメモリーの動作は保証できません。一部のUSBメモリーは、認識できない場合があります。また、ACアダプターから電源供給できるタイプのUSB接続対応ポータブルハードディスクをご使用になる場合は、ハードディスクにACアダプターを接続して使用してください。 	<p>23</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p> <p>—</p>
<p>USBメモリー内のファイルを表示しない。または、“Empty”と表示される。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本機が対応していない形式のファイルは表示しません。 • 本機が表示できるファイル構成は最大8階層、フォルダ数は最大700個、ファイル数は最大65,535個です。USBメモリーのフォルダ構成を変更してください。 • USBメモリーに複数のパーティションがある場合、先頭のパーティションのファイルのみを表示します。 	<p>68</p> <p>—</p> <p>—</p>
<p>USBメモリー内のファイルを再生できない。</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 本機が対応していないフォーマットで作成されています。本機が対応しているフォーマットを確認してください。 • 本機では、著作権保護のかかったファイルを再生することはできません。 • “< Not Support”が表示された場合は、リモコンの<ボタンを押して他のファイルを選択してください。 	<p>68</p> <p>—</p> <p>—</p>

■ iPodが再生できない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
iPodが接続できない。または、“Check iPod”と表示される。	<ul style="list-style-type: none">• USB端子にiPodを接続してご使用になる場合、対応していないiPodがあります。• iPodの接続に純正以外のUSBケーブルをご使用になると、iPodを認識できない場合があります。純正のUSBケーブルを使用してください。	24 —

■ iPodやUSBメモリー内のファイル名が正しく表示されない

症 状	原 因 / 対 策	関連ページ
ファイル名が“***”など、正しく表示されない。	<ul style="list-style-type: none">• 本機で表示できない文字は、“*”に置き換えて表示します。	—

保証と修理について

■ 保証書について

- この製品には保証書が添付されております。保証書は、必ず「販売店名・購入日」などの記入を確かめて販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日から1年間です。

■ 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

ご注意

- 保証書が添付されない場合は有料修理になりますので、ご注意ください。

■ 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により、有料修理致します。

有料修理の料金については、「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へお問い合わせください。

■ 補修部品の保有期間

- 本機の補修用性能部品の保有期間は、製造打ち切り後8年です。

■ 修理を依頼されるとき

修理を依頼される前に

- 取扱説明書の「故障かな?と思ったら」の項目をご確認ください。
- 正しい操作をしていただかずに修理を依頼される場合がありますので、この取扱説明書をお読みいただき、お調べください。

修理を依頼されるとき

- 添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」に記載の、お近くの修理相談窓口へご相談ください。
- 持ち込み修理対象製品の出張修理をご希望される場合は、別途出張料をご請求させていただくこととなりますので、あらかじめご了承ください。
- 修理を依頼されるための、梱包材は保存しておくことをおすすめします。

■ 依頼の際に連絡していただきたい内容

- お名前、ご住所、お電話番号
- 製品名……取扱説明書の表紙に表示しています。
- 製造番号…保証書と製品背面に表示しています。
- できるだけ詳しい故障または異常の内容

■ お客様の個人情報の保護について

- お客様にご記入いただいた保証書の控えは、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために記載内容を利用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- この商品に添付されている保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

再生できるメディア

ディスク

再生できるメディア	
スーパーオーディオCD	
CD	
CD-R	
CD-RW	

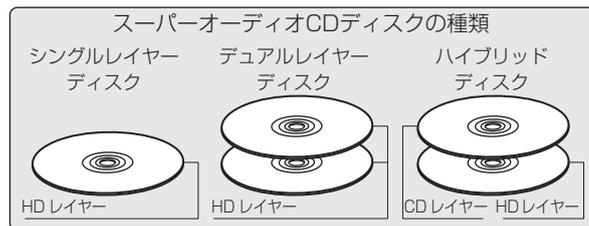
スーパーオーディオCD (SACD)

スーパーオーディオCDには次の3つの種類があります。

- ① シングルレイヤーディスク
HDレイヤーのみで構成される一層のスーパーオーディオCDです。
- ② デュアルレイヤーディスク
HDレイヤーが二層構造のスーパーオーディオCDです。高音質で長時間の再生ができます。

③ ハイブリッドディスク

HDレイヤーとCDレイヤーの二層構造のスーパーオーディオCDです。CDレイヤーの内容は通常のCDプレーヤーで再生することができます。



HDレイヤーとは、スーパーオーディオCD用の高密度信号層のことです。

CDレイヤーとは、通常のCDプレーヤーで読み取り可能な層のことです。



- SOUND MODEボタンで“MULTI”を選択した場合は、LチャンネルとRチャンネルにダウンミックスした音声を出力します。

ご注意

- ご使用になるディスクや記録状態により、再生できない場合があります。
- ファイナライズされていないディスクは再生できません。

データCD

次のフォーマットで作成されたCD-RまたはCD-RWを再生できます。

■ ライティングソフトのフォーマット

ISO9660レベル1、2

拡張フォーマット（ジュリエット、ロメオ）

- 他のフォーマットで記録された場合は、正しく再生できないことがあります。

■ 再生できるファイルの仕様

再生できるファイル（拡張子）	ファイルの仕様
MP3 (.mp3)	<ul style="list-style-type: none">• サンプル周波数：32 / 44.1 / 48kHz• ビットレート：32kbps～320kbps• ファイルフォーマット：MPEG1 Audio Layer 3
WMA (.wma)	<ul style="list-style-type: none">• サンプル周波数：32 / 44.1 / 48kHz• ビットレート：64kbps～192kbps• ファイルフォーマット：Windows Media Audio

■ 再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大ファイル数：1000個

最大フォルダ数：255個

ご注意

- ファイルには必ず拡張子“.mp3” “.wma” を付けてください。これら以外の拡張子を付けた場合や拡張子を付けなかったファイルは再生できません。
- あなたが録音したものは、個人として楽しむ以外では著作権法上、権利者に無断で使用できません。



- 本機は、著作権保護のかかっていない音楽ファイルのみを再生できません。
- インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンでCD などからリッピングする際にWMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。

USBメモリー

■ USB対応ファイルシステム

FAT16またはFAT32

- USBメモリーが複数のパーティションに分かれている場合は、先頭ドライブのみ選択できます。

■ タグ情報

ID3タグ（Ver.1.xと2.x）

WMA-TAG

AAC-TAG

（タイトル、アーティストおよびアルバムに対応）

■再生できるファイルの仕様

再生できるファイル (拡張子)	ファイルの仕様
MP3 (.mp3)	<ul style="list-style-type: none"> サンプリング周波数：32 / 44.1 / 48kHz ビットレート：32kbps～320kbps ファイルフォーマット：MPEG1 Audio Layer 3
WMA (.wma)	<ul style="list-style-type: none"> サンプリング周波数：32 / 44.1 / 48kHz ビットレート：48kbps～320kbps ファイルフォーマット：Windows Media Audio
AAC (.m4a)	<ul style="list-style-type: none"> サンプリング周波数：32 / 44.1 / 48kHz ビットレート：64kbps～192kbps ファイルフォーマット：Advanced Audio Codec
リニアPCM (.wav)	<ul style="list-style-type: none"> サンプリング周波数：32 / 44.1 / 48kHz ビット長：16ビット ファイルフォーマット：リニアPCM

■再生可能な最大ファイル数とフォルダ数

最大ファイル数: 65,535

最大フォルダ数: 700



- 本機は、著作権保護がかかっていない音楽ファイルのみを再生できません。
- インターネット上の有料音楽サイトからのダウンロードコンテンツには著作権保護がかかっています。また、パソコンでCD などからリッピングする際にWMA でエンコードすると、パソコンの設定により著作権保護がかかる場合があります。
- USBメモリーのファイルの音声をデジタル音声出力端子から出力する場合、サンプリング周波数を44.1kHzに変換して出力します。

ご注意

- 本機はMP3プレーヤー、デジタルカメラ、携帯電話などのUSB機器には対応していません。
- 本機はUSB機器の充電に対応していません。

ファイルの再生順番について

音楽ファイルを記録しているフォルダが複数ある場合、本機がメディアを読み取るときに自動的に各フォルダの再生順番を設定します。各フォルダの中のファイルを、ファイルがメディアに記録された日時が古いファイルから順に再生します。

CD-R/CD-RW

CD-R やCD-RWディスクに記録しているファイルは、第一階層のすべてのフォルダにあるファイルを再生したあとに第二階層のすべてのフォルダ、第三階層のすべてのフォルダ・・・の順番に再生します。

USBメモリー

USBメモリーに記録しているファイルは、第一階層の最初のフォルダにあるファイルを再生したあとに、そのフォルダ内にある第二階層のフォルダ、第三階層のフォルダ・・・を再生し、次に別の第一階層のフォルダ・・・の順番に再生します。



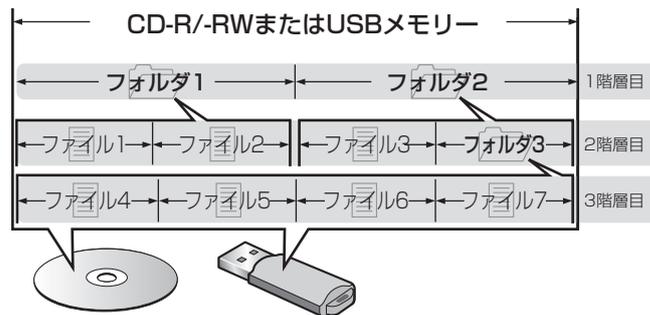
- ・パソコン上で表示される順番と実際に再生する順番が異なる場合があります。
- ・CD-R/CD-RWのライティングソフトによっては、再生する順番が変わる場合があります。

ご注意

- ・USBメモリーのフォルダやファイルの削除や追加をおこなうと、記録順とは違う順に再生をする場合があります。これはデータ記録上の仕様によるもので、故障ではありません。

フォルダとファイルについて

CD-R/-RWやUSBメモリーに記録された音楽ファイルは、いくつかの大きな区切り（フォルダ）と小さな区切り（ファイル）に分けられています。ファイルはフォルダに、フォルダはいくつかの階層に分けて記録させることができます。本機は8階層まで認識できます。



MP3/WMAファイルをCD-R/-RWに書き込む場合、ライティングソフトのフォーマットは「IS09660」でおこなってください。他のフォーマットで記録された場合、正しく再生できないことがあります。詳しくは、ご使用のライティングソフトの説明書をご覧ください。

D/Aコンバーター

■再生できるファイルの仕様

USB-DAC

再生できるファイル (拡張子)	ファイルの仕様
DSD (2チャンネル)	<ul style="list-style-type: none">サンプリング周波数： 2.8224/5.6448MHzビット長：1ビット
リニアPCM (2チャンネル)	<ul style="list-style-type: none">サンプリング周波数：32/44.1/48/88.2/ 96/176.4/192kHzビット長：16/24ビット

ご注意

- ・DSD信号、またはサンプリング周波数が32kHzのリニアPCM信号の再生中は、デジタル音声出力を停止します。

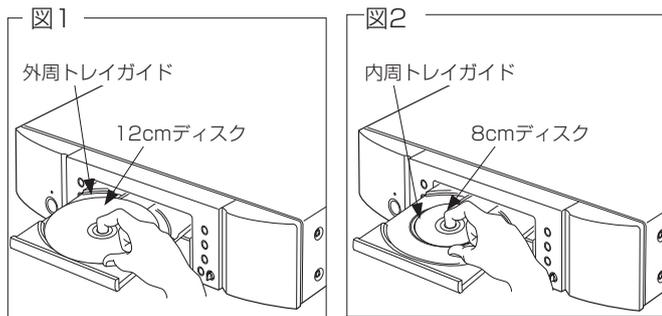
Coaxial/Optical

再生できるファイル (拡張子)	ファイルの仕様
リニアPCM (2チャンネル)	<ul style="list-style-type: none">サンプリング周波数：32/44.1/48/64/ 88.2/96/176.4/192kHzビット長：16/24ビット

メディア使用時のご注意

ディスクの入れかた

- 記録面を下にして入れてください。
- ディスクトレイが完全に開いた状態でディスクを入れてください。
- 12cmディスクは外周トレイガイド（図1）に合わせ、8cmディスクは内周トレイガイド（図2）に合わせて、水平に載せてください。



- 8cmディスクは、アダプターを使用せずに内周トレイガイドに合わせて入れてください。



- 再生できないディスクを入れた場合には、“0 0:00” を表示します。
- ディスクを裏返しに入れた場合またはディスクが入っていない場合には、“No Disc” を表示します。

ご注意

- ディスクは1枚だけ入れてください。2枚以上重ねて入れると故障の原因になり、ディスクを傷つけることにもなります。
- ひび割れや変形、または接着剤などで補修したディスクは使用しないでください。
- レンタルディスクのラベルやセロハンテープなどの糊がはみ出したものや、剥がした痕があるディスクは使用しないでください。そのまま使用すると、ディスクが取り出せなくなり、故障の原因になることがあります。
- 特殊形状のディスクの再生は、故障の原因になりますので使用しないでください。



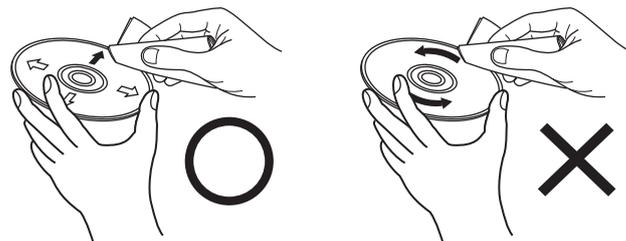
- 電源がスタンバイ状態で、ディスクトレイを手で押し込まないでください。故障の原因となります。
- ディスクトレイに異物を入れないでください。故障の原因になります。
- 本機をたばこなどの煙が充満している場所に長時間置くと、光学ピックアップの表面が汚れ、正しい信号の読み取りができなくなることがあります。

メディアの取り扱いについて

- 指紋・油・ゴミなどを付けないでください。
- ディスクに傷を付けないよう、特にケースからの出し入れにはご注意ください。
- 曲げたり、熱を加えたりしないでください。
- ディスクの中心の穴を大きくしないでください。
- ディスクのレーベル面（印刷面）にボールペンや鉛筆などで文字を書いたり、ラベルなどを貼り付けたりしないでください。
- ディスクを屋外など寒いところから急に暖かいところへ移すと、ディスクの表面に水滴が付くことがあります。ヘアードライヤーなどで乾かささないでください。
- USBメモリーの再生中にUSBメモリーを抜いたり、本機の電源をスタンバイにしたりしないでください。ファイルが壊れて、故障の原因になることがあります。
- USBメモリーは分解したり、修理したりしないでください。
- 静電気によって、USBメモリーやファイルが壊れることがあります。USBメモリーの金属端子部を指などで触らないでください。
- 変形したUSBメモリーを使用しないでください。
- ご使用後は、必ずディスクやUSBメモリーを取り出し、ほこりや傷、変形などを避けるため、必ず専用のケースに入れてください。
- 次のような場所に置かないでください。
 1. 直射日光が長時間当たるところ
 2. 湿気・ほこりなどが多いところ
 3. 暖房器具などの熱が当たるところ

ディスクのお手入れのしかた

- ディスクに指紋や汚れが付いたときは、汚れを拭き取ってからご使用ください。
- 拭き取りには、市販のディスククリーニングセットまたは柔らかい布などをご使用ください。



内周から外周方向へ軽くふく。 円周に沿ってはふかない。

ご注意

- レコードスプレー・帯電防止剤や、ベンジン・シンナーなどの揮発性の薬品は、使用しないでください。

用語の解説

M

MP3 (MPEG Audio Layer 3)

音声データ圧縮方式の1つで、国際的な標準規格です。映像圧縮方式の「MPEG-1」に採用されています。音楽CD並みの音質を保ったままデータ量を約1/11に圧縮できます。

W

WMA (Windows Media Audio)

米国Microsoft Corporationによって開発された音声圧縮技術です。

WMAデータは、Windows Media[®] Playerを使用してエンコード（符号化）することができます。

WMAファイルは、米国Microsoft Corporationより認証を受けたアプリケーションを使用してエンコードしてください。もし、認証されていないアプリケーションを使用すると、正しく動作しないことがあります。

さ行

サンプリング周波数

サンプリングとは、音の波（アナログ信号）を一定時間の間隔で刻み、刻まれた波の高さを数値化（デジタル信号化）することです。

1秒間に刻む回数をサンプリング周波数と呼び、この数値が大きいほど原音に近い音を再現できます。

た行

ダイナミックレンジ

機器が出すノイズに埋もれてしまわない最小音と、音割れしない最大音との音量差のことです。

は行

ビットレート (Bit rate)

ディスクに記録された映像/音声データを1秒あたりに何ビット処理したかを表します。

ファイナライズ

CDレコーダーやCDドライブで録音されたCDを、再生対応機器で再生できるように処理することです。

ら行

リニアPCM

圧縮していないPCM（Pulse Code Modulation）信号です。CDの音声と同じ方式ですが、BDやDVDでは192kHz、96kHz、48kHzなどのサンプリング周波数を用いており、CDよりも高音質の音声が楽しめます。

主な仕様

■ オーディオ特性

・アナログ出力

チャンネル：

再生周波数範囲：

再生周波数特性：

SN比：

ダイナミックレンジ：

高調波歪率：

ワウ・フラッター：

出力レベル：

ヘッドホン出力：

信号方式：

サンプリング周波数：

使用可能ディスク：

・デジタル出力

同軸出力：

光出力：

発光波長：

・デジタル入力信号フォーマット

フォーマット：

同軸入力：

Optical

光入力：

波長：

[スーパーオーディオ CD]

2チャンネル

2Hz～100kHz

2Hz～60kHz (-3dB)

110dB (可聴帯域)

106dB (可聴帯域)

0.0012% (1kHz、可聴帯域)

測定限界以下

1.7V (10kΩ)

30mW/32Ω (可変最大)

1ビットDSD

2.8224MHz

スーパーオーディオCD

—

—

—

デジタルオーディオインターフェース (リニアPCM)

0.5Vp-p/75Ω

-27dBm以上

660nm

[CD]

2チャンネル

2Hz～20kHz

2Hz～20kHz (±0.5dB)

110dB

101dB

0.0018% (1kHz)

測定限界以下

2.4V (10kΩ)

30mW/32Ω (可変最大)

16ビット リニアPCM

44.1kHz

CD

0.5Vp-p / 75Ω

-15 ~ -21dBm

660nm

■ 総合

電源:	AC100V、50/60Hz
消費電力:	29W
スタンバイ時の消費電力:	0.2W

*仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

索引

お

オートスタンバイ 56

こ

故障かな?と思ったら 60

こんなときの解決方法 59

さ

再生

AAC 41

CD 32

iPod 38

MP3 35、41

USB-DAC 45

USBメモリー 41

WAV 41

WMA 35、41

スーパーオーディオCD 32

データCD 35

再生モード

Remote iPodモード 40

プログラム再生 34

ランダム再生 33、36、40、42

リピート再生 33、36、40、42

サンプリング周波数 68、69、74

せ

接続

AVレシーバー 20

CDプレーヤー 21

D/Aコンバーター 20

iPod 23

USBメモリー 23

アンプ 19

オーディオタイマー 26

電源コード 27

パソコン 22

接続に使用するケーブル 18

た

ダイナミックレンジ 74

ダイレクト選曲 33

て

ディスプレイ 11

ディスプレイの明るさ 30

電源を入れる 29

と

ドライバソフトのインストール 45

ひ

ビットレート 68、69、74

ふ

ファイナライズ 74

付属品 5

フロントパネル 9

ほ

保証と修理について 66

め

メディアモードの選択 30

メニュー 一覧 52

り

リアパネル 12

リニアPCM 51、69、71、74

リモコン 13

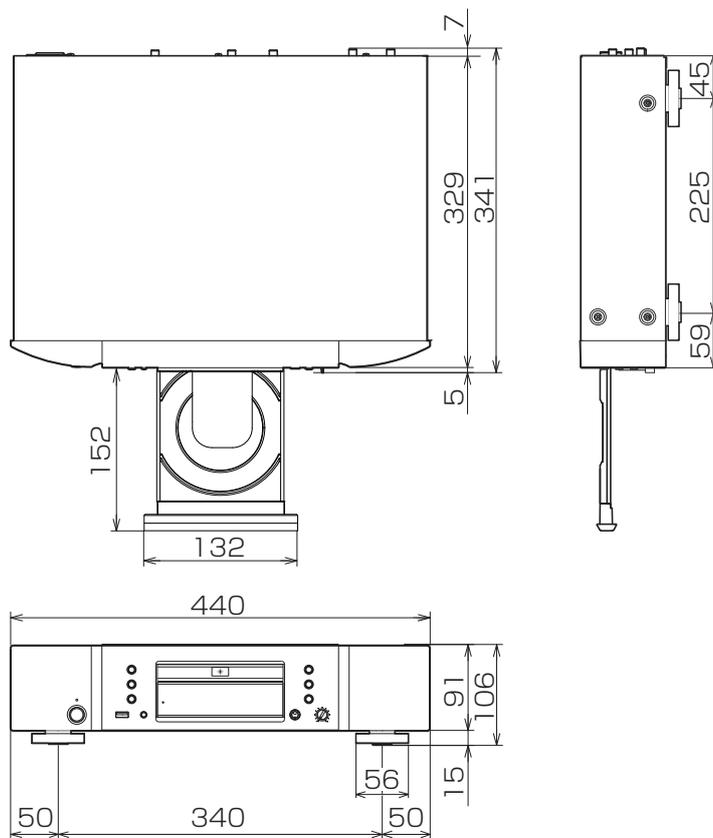
乾電池の入れかた 6

リモコンコードを設定する 57



■ 寸法

单位：mm



■ 質量：8.0kg

marantz®

お客様相談センター

 0570 (666) 112

【電話番号はお間違えないようにおかけください。】

IP 電話をご利用の場合など、プロバイダーのサービスによってはつながらない場合があります。その場合は 03 (3570) 5138 におかけください。

受付時間 9:30 ~ 17:30

(当社休日および祝日を除く、月～金曜日)

〒210-8569 神奈川県川崎市川崎区日進町2番地1 D&Mビル

修理に関するお問い合わせは、
添付の「製品のご相談と修理・サービス窓口のご案内」をご覧ください。

後日のために記入しておいてください。

購入店名:	電話 (- -)
ご購入年月日:	年 月 日

株式会社 ディーアンドエムホールディングス

当社の最新情報をインターネット上でご覧ください。

<http://www.marantz.jp>